

千葉県の上保護重要な野生生物

# 千葉県レッドリスト(動物編)

<2006年改訂版>



ヒメボタル 天津小湊産

## 目次

	ページ
1. 概要 .....	1
2. レッドリスト .....	13
3. 変更点一覧 .....	27
4. 特に留意が必要な種 .....	31
5. 索引 .....	33

2006年3月

千葉県環境生活部自然保護課



# <改訂版>千葉県レッドリスト（動物編）について

---

## 1. 千葉県レッドデータブックの背景と目的

多種多様な野生の動植物は、自然環境を構成する生態系に不可欠の要素であるが、近年地球規模での自然環境の悪化等から多くの種が絶滅の危機に瀕しているといわれており、野生動植物の保護は国際的な課題となっている。

このような状況の中で、本県においては、千葉県環境基本計画で掲げた「自然との共生」の理念のもとに「生物多様性の確保」という観点から、県内における絶滅のおそれのある野生動植物の現状と保護のあり方を明らかにした「千葉県レッドデータブック」-植物編-を1998年度に、同じく-動物編-を1999年度にとりまとめ、2000年度には植物編と動物編を一冊にまとめた-普及版-を作成した。

「千葉県レッドデータブック」は、法的規制等の強制力を伴うものではないが、多くの県民の方々に貴重な野生生物の現状を理解し、自然との共生のあり方を考えていただくことを目的として作成したものである。

## 2. 千葉県レッドリストとは

「千葉県レッドリスト」とは、県内の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（一覧表）である。「千葉県レッドデータブック」は、このレッドリストに掲載された種について、現状と保護のあり方を明らかにしたものである。

レッドリストは生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し選定したもので、規制等の法律上の効果を持つものではないが、絶滅のおそれのある野生生物の保護を進めていくための基礎的な資料として広く活用されることを目的とするものである。

## 3. 千葉県レッドリスト（動物編）改訂の方法

- (1) 動物編の改訂に当たっては、2004年度より専門家からなる「千葉県レッドリスト改訂委員会」(事務局:(財)千葉県環境財団)を組織した。
- (2) 改訂委員会は前県立中央博物館望月賢二副館長を委員長とし、哺乳類、鳥類、魚類、両生類・爬虫類、昆虫類(クモ類を含む)、甲殻類(陸産及び陸水産甲殻類、十脚甲殻類)、多足類および貝類の分類群ごとの分科会を組織しており、それぞれの分科会ごとに各種調査や情報収集を行い、得られた知見を基に改訂作業を行った。
- (3) 選定のための評価基準とカテゴリーは「千葉県レッドデータブック(動物編)」(2000年発行)で用いた選定方法を基準とした。

## 4. 改訂の体制

### (1) 千葉県レッドリスト(動物編)改訂委員

望月賢二	委員長 (魚類)	元千葉県立中央博物館副館長
落合啓二	(哺乳類)	千葉県立中央博物館環境科学研究科上席研究員
桑原和之	(鳥類)	千葉県立中央博物館環境教育研究科上席研究員
長谷川雅美	(爬虫類・両生類)	東邦大学理学部生物学教室地理生態学研究室助教授
宮野伸也	(昆虫類・クモ類を含む)	千葉県立中央博物館動物学研究科科長
朝倉 彰	(甲殻類)	千葉県立中央博物館動物学研究科上席研究員
萩野康則	(多足類)	千葉県立中央博物館動物学研究科上席研究員
黒住耐二	(貝類)	千葉県立中央博物館動物学研究科上席研究員

### (2) 改訂協力者(分類群別順不同敬称略)

相澤敬吾	千葉県立館山高等学校	陸生哺乳類(主に霊長目)
藍澤正宏	千葉県立中央博物館分館海の博物館	海棲哺乳類
浅田正彦	千葉県立中央博物館	陸生哺乳類
五十嵐和廣	千葉県教育庁東葛飾教育事務所	陸生哺乳類(主に食虫目・齧歯目)
池田文隆	勝浦市立北中学校	陸生哺乳類(主に霊長目)
大藪 健	千葉県立大多喜高等学校	陸生哺乳類(主に翼手目)
繁田真由美	㈱野生生物管理	陸生哺乳類(主に翼手目・齧歯目)
直井洋司	NPO法人房総自然博物館	陸生哺乳類(主に霊長目)
濱中 修	千葉県立匝瑳高等学校	陸生哺乳類(主に食虫目・齧歯目)
三笠暁子	コウモリの会	陸生哺乳類(主に翼手目)
矢竹一穂	㈱セレス	陸生哺乳類(主に食虫目・齧歯目)
浅川裕之	千葉市野鳥の会	キツツキ目
綾富美子	千葉市野鳥の会	チドリ目
泉 宏子	千葉市野鳥の会	チドリ目
大木淳一	千葉県立中央博物館	スズメ目
岡村裕透	千葉市野鳥の会	海鳥類
加藤恵美子	千葉市野鳥の会	スズメ目
加藤桂二	千葉市野鳥の会	スズメ目
金田彦太郎	航空科学博物館	カモ目
小林大光	千葉市野鳥の会	タカ目
佐藤達夫	千葉県立行徳野鳥観察舎	チドリ目
茂田良光	㈱山階鳥類研究所標識研究室	鳥類相
嶋田哲郎	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	カモ目
住友正幸	船橋市在住	鳥類相
高木 武	水鳥研究会	鳥類相
高島斎二	千葉市野鳥の会	チドリ目
竹田伸一	いしかわ動物園	アジサシ科・ウミスズメ科
田邊以久雄	花見川公園緑地事務所	カモメ科
鶴見みや古	㈱山階鳥類研究所資料室	シギ科
寺野淑子	千葉市野鳥の会	タカ目
富谷健三	千葉県野鳥の会	スズメ目
長島 充	千葉市野鳥の会	サギ科
長屋ゆみ子	千葉市野鳥の会	海鳥類
奴賀俊光	千葉大学海洋バ イオシステム研究センター	鳥類相
原田 茂	千葉市野鳥の会	スズメ目
坂東俊輝	千葉市野鳥の会	海鳥類
布留川毅	千葉県野鳥の会	スズメ目(クロツグミ)
本間征二	千葉市野鳥の会	チドリ目
松岡好美	東京大学大学院農学生命科学研究科 生物多様性科学研究室	カモメ科
三沢博志	船橋市中央図書館	鳥類相
箕輪義隆	日本鳥類保護連盟	鳥類相
和仁道大	千葉市野鳥の会	鳥類相
小賀野大一	千葉県立千葉南高等学校	爬虫類・両生類

浅間 茂	千葉県立千葉高等学校	クモ類
阿部則雄	日本蜻蛉学会	トンボ類
石綿進一	神奈川県環境科学センター	カゲロウ目
稲岡 徹	竹中工務店技術ソリューション本部	カゲロウ目
井上尚武	茨城県立多賀高等学校	ハエ目アブ類
岩坂佳和	千葉県昆虫談話会	カマキリ目・バッタ目・ナナフシ目
加納一信	日本蜻蛉学会	チョウ目チョウ類
柄澤保彦	日本蜻蛉学会	トンボ類
大塚市郎	千葉県昆虫談話会	トンボ類
久保田正秀	ネクイハムシ研究会	チョウ目チョウ類
倉西良一	千葉県立中央博物館	甲虫目ネクイハムシ亜科
斉藤清一	千葉県昆虫談話会	トビケラ目
斎藤秀生	自然環境研究センター	チョウ目チョウ類
斎藤洋一	日本蜻蛉学会	甲虫目イスマナガゴミムシ
坂井治雄	習志野市在住	トンボ類
篠永 哲	元東京医科歯科大学	バッタ目アカハネバッタ
清水高男	科学技術振興事業団	ハエ目ハエ類
鈴木智史	千葉県昆虫談話会	カワゲラ目
鈴木康彦	千葉県昆虫談話会	チョウ目チョウ類
鈴木 裕	三浦半島昆虫研究会	トンボ類
須田博久	ハナバチ談話会	カメムシ目
互井賢二	日本蜻蛉学会	ハチ目
谷川正樹	元東邦大学理学部	トンボ類
中村康弘	日本鱗翅学会	バッタ目イナゴモドキ
藤平 暁	日本鱗翅学会	チョウ目ヒョウモンモドキ
松木和雄	日本蜻蛉学会	チョウ目ガ類
三沢博志	船橋市立図書館	トンボ目
山崎秀雄	千葉県昆虫談話会	バッタ目イナゴモドキ
		ゴキブリ目・アミメカゲロウ目・コウチュウ目・シリアゲムシ目
		バッタ目アカハネバッタ
		淡水性エビ類
		等脚類
		多足類（ムカデ類・ヤスデ類）
		貝類
		貝類
		貝類
		貝類
渡辺泰明	東京農業大学名誉教授	
新島偉行	佐倉市在住	
布村 昇	富山市科学文化センター	
石井 清	獨協医科大学医学部自然科学講座	
岡本正豊	日本貝類学会	
河邊訓受	日本貝類学会	
谷口優子	日本貝類学会	

### (3) 改訂協力団体

NPO法人行徳野鳥観察舎友の会 千葉県野鳥の会 千葉県野鳥の会 水鳥研究会  
 千葉県立行徳野鳥観察舎 千葉県立中央博物館友の会 (財)山階鳥類研究所資料室  
 (財)山階鳥類研究所標識研究室 谷津干潟自然観察センター 我孫子市鳥の博物館

## 5. 改訂版千葉県レッドリスト(動物編)について

改訂版は、今回の検討により見直された結果を、分類毎に、カテゴリー順の一覧表にまとめ、さらに五十音順による検索ができるように索引表を掲載した。

リストの改訂が行われた分野については適宜改訂して掲載し、改訂された分野を改訂履歴で示しており、最新版の「千葉県レッドリスト」は千葉県庁のホームページから入手可能である。

なお、今回の改訂で一部の類群名について、下記のように変更統合を行った。

### 2006年版における分類群名の変更と統合

変更後：2006年版分類群名	変更前：2000年版分類群名
魚類	汽水・淡水産魚類
昆虫類(クモ類を含む)	昆虫類、クモ類
甲殻類	陸産及び陸水産甲殻類、十脚甲殻類

## 6. 千葉県レッドデータブック共通評価基準及びカテゴリ

レッドデータブックに掲載されることは、対象種が絶滅の危機に瀕していると同時に、その種が保護を必要としていることを示している。この点を踏まえ、評価基準は保護の必要度の高さから区分がされている。現在、県内で生息・生育が確認されている種のカテゴリは4段階とし、現在まで長期にわたって確実な生息・生育情報のない、消息不明または絶滅したものを加え、全体で5段階とした。

### 千葉県レッドデータブック共通評価基準及びカテゴリ

<p><b>X 消息不明・絶滅生物</b></p> <p>かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期にわたって確実な生存情報がなく、千葉県から絶滅した可能性の強い生物。ただし、すでに保護の対象外となったかに見える生物であっても、将来、他の生息・生育地からの再定着や埋土種子の発芽などにより自然回復する可能性もありうるので、かつての生息・生育地については、現存する動植物と共に、その環境の保全に努める必要がある。</p>
<p><b>A 最重要保護生物</b></p> <p>個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが環境変化の危機にある、などの状況にある生物。放置すれば近々にも千葉県から絶滅、あるいはそれに近い状態になるおそれがあるもの。このカテゴリに該当する種の個体数を減少させる影響及び要因は最大限の努力をもって軽減または排除する必要がある。</p>
<p><b>B 重要保護生物</b></p> <p>個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地のほとんどで環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、近い将来カテゴリAへの移行が必至と考えられるもの。このカテゴリに該当する種の個体数を減少させる影響及び要因は可能な限り軽減または排除する必要がある。</p>
<p><b>C 要保護生物</b></p> <p>個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来カテゴリBに移行することが予測されるもの。このカテゴリに該当する種の個体数を減少させる影響及び要因は最小限にとどめる必要がある。</p>
<p><b>D 一般保護生物</b></p> <p>個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。放置すれば個体数の減少は避けられず、自然環境の構成要素としての役割が著しく衰退する可能性があり、将来カテゴリCに移行することが予測されるもの。このカテゴリに該当する種の個体数を減少させる影響は可能な限り生じないように注意する。</p>

## 7. 選定の結果

動物の分類群・カテゴリー別の掲載種数は表に示すとおりである。

本年改訂された種は、脊椎動物では、哺乳類 18 種、鳥類 169 種、爬虫類 14 種、両生類 11 種、魚類 22 種の計 234 種、無脊椎動物では、昆虫類 367 種、クモ類 9 種、甲殻類 31 種、多足類 36 種及び貝類 197 種の計 640 種で、脊椎動物、無脊椎動物を合計すると計 874 種となる。

対象とした在来の脊椎動物は約 520 種であり、そのうち約 45%が本書に掲載されている。一方、在来の無脊椎動物は約 6,000 種と考えられ、その内の約 11%が本書に掲載されている。また、カテゴリーX の消息不明・絶滅生物に選定されたものは、哺乳類 3 種、鳥類 17 種、爬虫類 1 種、魚類 2 種、昆虫類 23 種、甲殻類 1 種、多足類 3 種、貝類 24 種の計 74 種である。さらに、カテゴリーA の最重要保護生物には 225 種が選定され、現在多くの種が絶滅の危機に瀕していることを示している。

千葉県の実験上重要な野生動物 分類群・カテゴリー別掲載種数

カテゴリー 分類群		X	A	B	C	D	総計
脊椎動物	哺乳類	3(3)		2(2)	3(8)	9(5)	18(18)
	鳥類	17(16)	39(29)	32(32)	55(44)	26(20)	169(141)
	爬虫類	1(1)	1(1)	5(5)	2(2)	5(5)	14(14)
	両生類		3(3)	4(4)	3(3)	1(1)	11(11)
	汽水・淡水産魚類	2(1)	2(2)	5(6)	7(7)	6(5)	22(21)
計		23(21)	45(35)	48(49)	70(64)	47(36)	234(205)
無脊椎動物	昆虫類						
	カゲロウ目		2(2)			1(1)	3(3)
	トンボ目	5(3)	19(20)	12(11)	6(7)	9(10)	51(51)
	カワゲラ目		1	(1)		1(2)	2(3)
	ゴキブリ目					1(1)	1(1)
	カマキリ目				1(1)	1(1)	2(2)
	バッタ目	1(1)	10(8)	3(3)	2(2)	4(4)	20(18)
	ナナフシ目				1(1)		1(1)
	カメムシ目	1	4(6)	8(1)	17(14)	4(10)	34(31)
	アミメカゲロウ目			1(1)	1(1)		2(2)
	コウチュウ目	3(3)	25(21)	19(16)	38(33)	39(43)	124(116)
	ハチ目		6(5)	7(9)	15(13)		28(27)
	シリアゲムシ目			1(1)	3(3)	1(1)	5(5)
	ハエ目	6(6)	4(4)	7(7)	2(2)	4(1)	23(20)
	トビケラ目		2(2)	1(1)	7(5)	2(2)	12(10)
	チョウ目(チョウ類)	5(4)	3(6)	12(12)	13(8)	4(4)	37(34)
	チョウ目(ガ類)	2(2)	2(2)	3(4)	7(4)	8(8)	22(20)
	昆虫類小計	23(19)	78(76)	74(67)	113(94)	79(88)	367(344)
	クモ類		3(3)	2(2)	2(2)	2(2)	9(9)
	甲殻類	1(1)	8(7)	4(3)	5(6)	13(11)	31(28)
多足類	3(6)	12(5)	12(15)	8(4)	1(1)	36(31)	
貝類	24(17)	79(26)	49(21)	30(22)	15(10)	197(96)	
計		51(43)	180(117)	141(108)	158(128)	110(112)	640(508)
合計		74(64)	225(152)	189(157)	228(192)	157(148)	874(713)

- ( ) 内は前回リストの種数を示す。
- 「 」 情報不足 1 種を含む。

### 改訂された種数

改訂内容	種数
新規追加	169 種
削除	8 種

## 8. 各分類群における改訂方法

### 脊椎動物

#### (1) 哺乳類

##### 選定基準について

- 1) 哺乳類のレッドリスト改訂にあたり、- 千葉県レッドデータブック - 動物編 (千葉県 2000 年) では評価対象としなかったクジラ・イルカ類を評価対象とすることを決めた。陸生哺乳類については千葉県立中央博物館の落合啓二・浅田正彦の2名が、海棲哺乳類については千葉県立中央博物館分館海の博物館の藍澤正宏が、それぞれとりまとめ責任者となることとした。
- 2) 海棲哺乳類について、千葉県レッドリスト (動物編) 改訂版における検討対象種の検討・選定を行った。その結果、千葉県レッドデータブック (2000) においてリスト掲載したアシカに加え、スナメリを検討対象とすることとした。
- 3) とりまとめ責任者 3 名により、カテゴリー基準の再検討を行った。その結果、下記ア) イ) の覚え書きが確認された。これらの基準は陸生哺乳類を対象に検討されたものであり、海棲哺乳類についてはこれらの基準に準じるものとする。
  - ア) 哺乳類のレッドリスト改訂にあたっての時間軸や基本的な考え方は、表 1 のとおりとする。
  - イ) 哺乳類のレッドリスト改訂にあたってのカテゴリー基準は、表 2 のとおりとする。
  - ・ 定性的要件として、千葉県レッドデータブック (2000) におけるカテゴリー基準を使用するとともに、環境省新カテゴリー (環境庁 1997) を参考にすることとする。
  - ・ 定量的要件として、環境省新カテゴリー (環境庁 1997) を参考とし、現在個体数、および個体数ないし分布面積の減少率に基づく基準を使用することとする。
  - ・ 評価にあたっては、定量的要件を満たすデータが得られている場合は、定性的要件に優先して、定量的要件を使用することとする。ただし、多くの種において定量的要件を満たすデータは得られていない。その場合、定量的要件は目安ないしイメージとして考慮し、基本的には定性的要件に基づいてカテゴリーを定めることとする。

表 1 哺乳類のレッドリスト改訂にあたっての時間軸や基本的な考え方

	2000 年発行版	改訂版
対象とする絶滅種の時間軸	明治時代以降	明治時代以降
減少を見る時間軸	明記されておらず	過去 (今後) 10-30 年
分布面積のとらえ方	分布面積の広狭を重視した。	分布面積の広狭そのものではなく、分布面積の減少状況を要件とした。
レッドリストのとらえ方	千葉県内の各生息地域の消長を重視した。	千葉県からの絶滅の危険性を重視した。

表 2 哺乳類のレッドリスト改訂にあたってのカテゴリー基準

千葉県版 レッドリストの カテゴリー	定量的要件 (個体数、減少率のどちらか一方でも)		定性的要件	定性的要件 (参考)
	(1) 現在個体数	(2) 減少率 (個体数ないし分布面積)		
A	成熟個体数が 50 未満	最近 10-30 年間に 80% 以上の減少があったと推定される場合、あるいは今後 10-30 年間に 80% 以上の減少があると予想される場合	千葉県レッドリスト (動物編) 2000 年発行版のカテゴリー-A	環境省絶滅危惧 IA 類
B	成熟個体数が 250 未満	最近 10-30 年間に 50% 以上の減少があったと推定される場合、あるいは今後 10-30 年間に 50% 以上の減少があると予想される場合	同じく、カテゴリー-B	環境省絶滅危惧 IB 類
C	成熟個体数が 1000 未満	最近 10-30 年間に 20% 以上の減少があったと推定される場合、あるいは今後 10-30 年間に 20% 以上の減少があると予想される場合	同じく、カテゴリー-C	環境省絶滅危惧 II 類
D	-	-	同じく、カテゴリー-D	環境省準絶滅危惧
情報不足	ヒナコウモリはこれまで県内で 1 頭の記録しか報告されていないため、カテゴリーは「情報不足」として扱った。			

#### 参考文献

三笠暁子ほか (2005) 千葉県における洞穴性コウモリ類の生息状況. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 8 : 17-32 / 繁田真由美ほか (2005) 千葉県の大規模ねぐらにおけるユビナガコウモリ (*Miniopterus fuliginosus*) の個体数変動. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 8 : 33-40 / 矢竹一穂ほか (2005) 千葉県におけるニホンリス (*Sciurus lis*) の分布状況. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 8 : 41-48 / 萩原 光ほか (2003) 房総半島の移入種を含むマカカ属個体群の生息状況と遺伝的特性. 霊長類研究 19 : 229-241 / 川本 芳ほか (2005) 房総半島におけるニホンザルとアカゲザルの交雑. 霊長類研究 20 : 89-95 / 房総のシカ調査会 (編) (2004) 千葉県房総半島におけるニホンジカの保護管理に関する調査報告書 (総合版 : 1992 ~ 2003 年度) . 134 pp. 千葉県 / 浅田正彦ほか (2005) 千葉県におけるヒナコウモリの初記録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 8 : 49-51 / 環境庁 (編) (1997) 植物レッドリスト. 環境庁自然保護局野生生物課



## (2) 鳥類

### 選定基準について

種、選定のための評価基準とカテゴリーは - 千葉県レッドデータブック - 動物編 (千葉県 2000 年) で用いた選定方法を基準とした。千葉県レッドデータブック(2000)作成の際、閲覧できなかった情報を改訂のために収集した。1)2000 年以降新たに発行された文献および 2)観察記録から情報を収集した。

#### 1)文献

今回の改訂では、千葉県レッドデータブック(2000)で参照した文献を引き続き参考にした。また、評価にあたり、定量的に個体数の減少や分布域の減少がデータや文献から得るため、地域の出現種リストやカウント結果などの記録が掲載されている文献を参照した。江戸後期から明治時代以降を時間軸とし、個体数や分布の減少を定量的におさえることを目的とし文献を収集した。しかし、減少率などを表している文献は、極めて少なかったため、千葉市の保護上重要な野生生物をとり扱った千葉市レッドリスト(千葉市 2004)なども参照した。今回の改訂で、最も個体数が減少していると考えられたシギ科およびチドリ科の種も千葉市(2004)などを参考に選定した。

#### 2)観察記録

野鳥観察をする自然愛好家などの観察記録は、文献として公表されないことも多い。観察記録の中でも、個体数が減少していると一般的に考えられている種の記録を協力者から提供していただいた。提供していただいた記録の中には、千葉県レッドリスト(動物編)2000年版では、観察記録を参考にできなかった情報も多かった。内房、外房、利根川河口などでも箕輪義隆、高木 武、奴賀俊光が、現地調査を行い観察記録を収集した。繁殖や越冬が新たに確認された種の記録を参考に選定した。

大きく前述の1)と2)により、新たな選定種を設け、カテゴリーなども再検討した。再検討に当たっては、改訂協力者の見解を桑原和之がとりまとめた。以下に改訂した種についてカテゴリー別に述べる。

#### X：消息不明・絶滅鳥類

過去に繁殖記録があるが、1970 年以降の繁殖記録がない種に関しては、変更はしなかった。なお、千葉県内でクウノトリ、クロトキは 2004 年と 2005 年に記録されたが、定期的な記録ではないので消息不明種・絶滅鳥類とした。千葉県内で個体数が少ないが繁殖期に確認されているヤイロチョウを新たに選定した。

#### A：最重要保護鳥類

国際的に稀少である種。極東・アジア地域もしくは日本に固有で、生息数の減少が著しい種。千葉県レッドデータブック(2000)で重要保護鳥類として選定したサシバ、チュウヒ、シロチドリ、セイタカシギ、ツバメチドリ、コアジサシ、アオバズク、コサメビタキなどの減少が著しかったため、最重要保護鳥類として改訂した。千葉県内で個体数が少ないが繁殖期に確認されているクロツグミを新たに選定した。さらに、九十九里平野などで減少が著しいチュウジシギも新たに選定した。

#### B：重要保護鳥類

国内で生息数が少ないが、著しく減少した種。千葉県レッドデータブック(2000)で要保護鳥類として選定したホオジロガモ、バン、キセキレイは、各地で減少したため、重要保護鳥類として改訂した。また、ハマシギ、キリアイ、ツルシギ、タカブシギは、東京湾岸などで減少が著しいので、新たに選定した。

#### C：要保護鳥類

千葉県内で生息数が少ないが、著しく減少した種。千葉県レッドデータブック(2000)で一般保護鳥類として選定したピロードキンクロやヒメアマツバメは、個体数が多くないので、要保護鳥類に改訂した。イワヒバリやハギマシコは、越冬地で減少が著しいため、新たに選定した。さらに、渡りの時期に記録されるシギ・チドリ類の観察個体数が東京湾などで著しく減少したため、要保護鳥類として選定した。

#### D：一般保護鳥類

県内では、一部の地域にしか生息しないが、著しく減少した種。個体数が多いが、東京湾、九十九里海岸などで著しく減少したスズガモ、ムナグロ、ミユビシギ、アオアシシギ、クサシギ、チュウシャクシギ、オオジュリンなどを、要保護鳥類として新たに選定した。また、カワウとアオサギは、個体数の変遷の記録は、得られなかったが分布が拡大し、繁殖地も増加したので、一般保護鳥類に改訂した。

### 参考文献

千葉市(2004)千葉市の保護上重要な野生生物・千葉市レッドリスト/布留川毅、桑原和之(1991)夷隅川河口周辺の鳥類相・水郷筑波国定公園・県立大利根自然公園・県立九十九里自然公園・自然公園自然環境調査報告書：127-145/桑原和之(2000)ロシアからの渡り鳥 - 極東で繁殖するシギ・チドリ類 - 千葉県立中央博物館平成 12 年度特別展解説書：89-92。千葉県立中央博物館。千葉/桑原和之、箕輪義隆、石黒夏美、嶋田哲郎(編・著)(2000)多摩川河口域における水鳥相の解析 - 特に東京湾の干潟環境との対応について - . とうきゅう環境浄化財団研究報告研究助成・学術研究 28(198)：1-557/桑原和之、三沢博志、箕輪義隆、高木武、田久保晴孝(2004)千葉県三番瀬鳥類目録。我孫子市鳥

博報 12 : 241-266 / 桑原和之、箕輪義隆、澤口晶子、嶋田哲郎 (2000) ロシアから渡ってくるシギ・チドリ類 - 千葉県における重要渡来地 - . 千葉県立中央博物館平成 12 年度特別展解説書 : 78-86 . 千葉県立中央博物館 . 千葉 / 桑原和之、箕輪義隆、米持千里 (2005) 甚兵衛広沼サンカノゴイやチュウヒが生息する貴重な水辺 . Birder 19(3) : 70 - 72 / 桑原和之、茂田良光、野口一誠、富谷健三 (2004) 千葉県におけるアカコッコ *Turdus celanops* の記録 . Bull. JBBA. 17(2) : 43-48 / 桑原和之、鶴見みや古 (2000) 減っていくジシギ類 . Birder 14(5) : 32-37 / 箕輪義隆、桑原和之、三沢博志、鈴木明、奴賀俊光、米持千里、小林大光、田中忠義 (2005) 印旛沼鳥類目録 . 我孫子市鳥博報 13 : 1 - 48 / 三沢博志、桑原和之、箕輪義隆 (2003) 千葉県船橋市鳥類目録 . 我孫子市鳥博報 11 : 103-138 / 三沢博志、桑原和之、小川和子、奴賀俊光、綾 富美子、泉 宏子、箕輪義隆、本間征、高島斎二 (2005) 一宮川河口干潟およびその周辺の鳥類目録 . 我孫子市鳥博報 13 : 77 - 136 / 奴賀俊光、桑原和之、箕輪義隆 (2004) 九十九里浜平野・蓮沼村周辺の水田地帯における鳥類相 . 我孫子市鳥博報 12 : 135 - 149 / 奴賀俊光、桑原和之、乃一哲久、羽賀秀樹、竹田伸一 (2004) 千葉県周辺海域における繁殖期のカムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* の観察記録 . J. Yamashina, Inst. Ornith, 36 : 93-96 / 奴賀俊光、桑原和之、高山順子、関高史、菊地則雄 (2003) 千葉県立中央博物館分館海の博物館付近の鳥類相 . 我孫子市鳥博報 11 : 11 - 24 / 小川和子、桑原和之、綾 富美子、奴賀俊光、泉 宏子、箕輪義隆、本間征、横林庸介 (2004) 千葉県一宮川河口干潟の鳥類 . 我孫子市鳥博報 12 : 151 - 187 / 嶋田哲郎、桑原和之、箕輪義隆、石黒夏美 (2000) 日本で越冬するガンカモ類 . 千葉県立中央博物館平成 12 年度特別展解説書 : 67-77 . 千葉県立中央博物館 . 千葉 / Toshimitsu NUKA, Christopher P. NORMAN, Kazuyuki KUWABARA and Tatsuo MIYAZAKI (2005) Feeding behavior and effect of prey availability on Sanderling *Calidris alba* distribution on Kujukuri Beach . Ornithological Science 4 (2) : 139-146 / 時田賢一、桑原和之 (2005) タマシギ *Rostratula benghalensis* の晩秋の営巣記録 . 我孫子市鳥博報 13 : 143 - 145 / 和仁道大・桑原和之・箕輪義隆 (2003) 千葉県千葉市いなげの浜・検見川の浜の鳥類 . 我孫子市鳥博報 11 : 75 - 101

### (3) 爬虫類・両生類

#### 選定基準について

本改訂版(2006年版)における選定基準は、原則として - 千葉県レッドデータブック - 動物編(千葉県2000年)による基準を用いた。千葉県内における爬虫類および両生類の生息環境には、引き続き絶滅や減少の危険があるものの、2006年度版においてランク変更該当する種はなかった。

### (4) 魚類

#### 選定基準について

本改訂版における選定基準は、原則として - 千葉県レッドデータブック - 動物編(千葉県2000年)における基準を用いた。

なお、今回汽水・淡水魚類に加え、海産魚類も対象にした。この海産魚類の判断においては、基本的に汽水・淡水魚類の考え方に準じて、(1)長く漁獲(採集)情報のない種、(2)生息のために特定の環境を必要とするがその環境がなくなった・強度に悪化した種を中心に検討した。また、(1)外来種(国内他地域からの移入種を含む)(2)南方系または北方系で分布の端にあたり、主分布域集団に絶滅の危惧がなく、一時的海況変動によっては千葉県に出現することがあるもの、(3)人工繁殖種苗を放流しているものは除外した。

このような判断に応じて検討した結果、海産魚類では東京湾産イカナゴが夏季の夏眠場所の消滅の可能性や捕獲情報がほとんどないことなどから、絶滅した可能性(またはそれに近い状態にある可能性)があると考えられるが、資源状態を示す資料(情報)が無く判断が困難であること、現在でも外房海域には分布していることなどから、今回は収録しなかった。今後、調査が必要である。それ以外の海産魚類では、希少性を示すデータや具体的知見がなく、判断が難しいが、房総半島周辺での絶滅が危惧される海産魚類は無いと思われる。ただし、資源が減少傾向にある種はありと考えられ、今後注意が必要である。

また、淡水域・汽水域のこの5年間の変化は、基本的に2000年版で述べた点と同様で、基本的に生息水域の人工的改変が進み、一般的な生息条件は着実に悪化しつつあると推測される。また、一部の種については情報が少なく、今後の調査が望まれる。また、これまで千葉県で記録されたことのある純淡水魚は60種程度いると推定されるが、このうち定着した外来種(国内他地域からの移入種を含む)が30種近くはいると推測される。これに対して、本報告に収録した保護が必要な在来種は純淡水魚を中心に22種にのぼる。この点でも、千葉県産淡水魚類の厳しい状況がうかがえる。

#### 参考文献

千葉県資料研究財団(編)(2002)千葉県の自然史、本編6、千葉県の動物 - 陸と淡水の動物 -、県史 45 : 988 pp . 千葉県 / 千葉県立勝浦高等学校水産生物部(2001)勝浦市内の河川の淡水生物 : 31 pp . 千葉県立勝浦高等学校水産生物部 / 千葉県資料研究財団(編)(2003)千葉県の自然資料、千葉県産動物総目録 : XI+379 pp . 千葉県

## 無脊椎動物

### (5) 昆虫類(クモを含む)

#### 選定基準について

昆虫類(クモを含む)の改訂に当たっては、昆虫分科会(代表 宮野伸也)を組織した。各分類群と担当者は以下のとおり。

浅間 茂	クモ類	清水高男	カワゲラ目
石綿進一	カゲロウ目	鈴木 裕	カメムシ目
稲岡 徹	ハエ目アブ類	須田博久	ハチ目
井上尚武	カマキリ目・バッタ目・ナナフシ目	藤平 暁	チョウ目ガ類
大塚市郎	チョウ目チョウ類	松木和雄	トンボ目
倉西良一	トビケラ目	山崎秀雄	ゴキブリ目・アミメカゲロウ目 ・コウチュウ目・シリアゲムシ目

なお、ハエ目ハエ類に関しては、適任者がいなかったため、今回の改訂作業から除外した。各担当は文献調査および現地調査に基づき、改訂作業を進めた。

第一回分科会では、- 千葉県レッドデータブック - 動物編(千葉県 2000 年)の評価基準およびカテゴリーに基づいて行うことを確認した。また、第二回分科会では、各担当の検討結果を持ち寄って検討すると同時に、昆虫類全体での統一性を図った。

#### 参考文献

- (カゲロウ目) 橋本(1955) 埼玉地方のカゲロウ類に関する研究(1). 秩父自然科学博物館研究報告: 67-79 / 石綿・竹門(2005) カゲロウ目 Ephemeroptera. 日本産水生昆虫: pp31-128. 東海大学出版会 / 石綿(2005) カゲロウ目の幼虫概説. 日本産幼虫図鑑: pp10-19. 学研 / 倉西・久原(1994) . 阿寒の動物第6章阿寒の底生動物. 「阿寒国立公園の自然 1993」pp1211-1217. 前田一步園財団 / 芦原(1984)よみうり県南ニュース 9月15日号 / Ishiwata(1996) A study of the genus Ephoron from Japan (Ephemeroptera, Polymitarcyidae). Canad. Entomol. 128: 551-572 / 石綿(2004) シロイロカゲロウ属の分類・分布・生活史. 昆虫と自然 39(6): 13-17
- (トンボ目) 松木ほか(1993) 湘南昆虫(3): 1-152 / 鷓飼(2000) 月刊むし(358): 35-36 / 直海・峰(2005) 房総の昆虫(34): 48 / 互井(2004) 市川市自然環境実態報告書 2003: 891-924 / 鈴木(2001) 房総の昆虫(25): 6 / 加納(2004) Pterobosca (10A): 11-12 / 鈴木(1982) Aeschna (15): 13 / 二橋・林(2004) Tombo (1/4): 41-46 / 鈴木(2000) 房総の昆虫(25): 7 / 平澤(2003) 房総の昆虫(31): 32 / 松木(1998) 昆虫と自然 33(7): 45 / 古城(2003) 房総の昆虫(30): 38 / 斉藤(1997) 房総の昆虫(19): 9-12 / 柄澤(1992) 房総の昆虫(7): 14-15 / 直海・山田(1997) 房総の昆虫(19): 20 / 松井・松井(2001) 房総の昆虫(2): 1-5 / 互井(2004) 房総の昆虫(33): 12 / 松木ほか(2003) 房総の昆虫(30): 29-32 / 松木・加納(2003) 房総の昆虫(28): 17-18 / 中山・阿部(2001) 房総の昆虫(25): 1-5 / 互井(2005) 房総の昆虫(34): 42 / 志賀(2005) 房総の昆虫(34): 41 / 佐藤(2004) 房総の昆虫(34): 6-11 / 村野(2005) 房総の昆虫(34): 44-47 / 成瀬(2004) 房総の昆虫(33): 15 / 互井(2004) 房総の昆虫(33): 16
- (バッタ目) 千葉県環境生活部自然保護課私信(2003) / 月刊むし(2004年) / 習志野のバッタ科. おとしぶみ 10(1): 22-23. 東京農大農友会昆虫部々報 / 千葉生物誌 55 巻
- (カメムシ目) 宮本正一ほか(1965) 原色昆虫大図鑑 : 75-154. 北隆館. 東京 / 鈴木裕(1997) 湾岸都市千葉市のカメムシ類. 「湾岸都市の生態系と自然保護」(沼田眞監修): 797-808 / 鈴木裕(1999) 千葉県のカメムシ類. 「千葉県動物誌」(千葉県生物学会編): 261-287 / 友国雅章監修. 安永智秀ほか(1993) 日本原色カメムシ図鑑. 全国農林教育協会. 東京 / 安永智秀ほか(2001) 日本原色カメムシ図鑑 第2巻. 全国農林教育協会. 東京 / 山崎秀雄・鈴木裕(1999) 千葉県のアメンボ類. 「千葉県動物誌」(千葉県生物学会編): 313-314 / 成田篤彦(1979) 市原市の動物. 市原市史: 699-711 / 鈴木智史(2001) 千葉県各地で採集した水生昆虫( ). 房総の昆虫(25): 47-48 / 山崎秀雄(2001) 大房岬少年自然の家に保存されているゲンゴロウとタガメの標本. 房総の昆虫(26): 9 / 大野正男(1974) ニホンザルの食料源としてみた高宕山の動物(第1報) / 伊藤敏仁(1989) 中央博物館標本目録: 178-182 / 信太利智(2001) 乾草沼(光町)とその周辺の昆虫若干. 房総の昆虫(25): 49 / 市川憲平(1996) 日本産のコバンムシはなぜヒシに卵を産むのか. インセクトリウム 33: 360-364 / 立川周二(1998) 日本産 Haematolochea の1新種の記載. 農学集報 13(2): 41-43 / 市田忠夫(1990) 房総半島で採集されたキュウシュウクチブトカメムシ. Rostria40: 664 / 鈴木(1998) キュウシュウクチブトカメムシ房総半島の追加記録. Rostria43: 36 / 鳥越邦博(2005) 月刊むし / 立川周二(1980) 佐倉市河川の生物 / 立川周二(1985) エサキアメンボは絶滅するのか. Rostria37: 521-524 / 丸山宗利ほか(2000) 佐倉市の昆虫類. 佐倉市自然環境調査報告書 : 239-310 / 山崎秀雄(1997) 東京湾千葉県側でイソジョウカイモドキとケシウミアメンボの生息を確認. 房総の昆虫(19): 22 / 山崎秀雄(1989) 千葉県立中央博物館自然誌資料調査・収集事業による収集資料・標本目録: 127-156 / 前田由加利(1973) 千葉県安房地方のカメムシ類(1). 千葉敬愛短大生物研究会会報(5): 57-60 / 青木直芳(2003) 我孫子市岡発戸で採集したカメムシ6種の記録. 房総の昆虫(31): 26-27 / 千葉市(1989) 産業廃棄物処理環境評価書 / 大野正男(1966) ハムシを捕食するカメムシ4種. Rostria13: 53-54 / 伊藤敏仁(1989) 中央博物館標本目録: 178-182 / 山崎秀雄(2001) 千葉県のおオクチブトカメムシの記録. 房総の昆虫(26): 10 / 鈴木(2004) 市川市のカメムシ類. 市川市自然環境実態調査報告書 2003: 855-868 / 山崎秀雄(1988) 利根川河川敷に生息する昆虫. 千葉県立中央博物館(仮称) 設置に係る資料調査・収集事業による収集資料・標本目録: 60-70 / 山崎(1977) 行徳近郊生物調査報告 / 山崎(2002) 山崎秀雄 2002. 「久留里の自然」の昆虫類調査 / 信太利智(2003) フタテンカメムシの1採集例. 房総の昆虫(31): 41 / 大木重二(1943) 外房州の椿象類. 昆虫世界 47(547): 11-13 / 中山幹(1962) 千葉県動物誌基礎資料 / 山崎秀雄(1989) 中央博物館標本目録: 127-156 / 鳥越邦博(1991) 千葉県市川市におけるヨコツナツチカメムシの記録. 昆虫と自然 26(2): 29 / 宮野伸也ほか(1994) 市原市の昆虫. 自然環境実態調査報告書: 136-138 / 信太利智(1997) 千葉県のカメムシ3種の記録. 房総の昆虫(19): 21 / 鈴木裕(2003) 市川市のカメムシ類: 617-628 / 諫川正臣(1990) 南房総調査報告書 / 直海俊一郎(2001) 千葉県産の

カメムシ4種の記録・房総の昆虫(26):8/長谷川仁(1987)昆虫とつき合う本/川名興(1986)千葉県産カメムシ採集目録・千葉生物誌36(1):36-38/君津市(1996)君津市史自然編/山崎秀雄(1997)大福山北部周辺地域の昆虫類・千葉県自然環境保全学術調査報告:269-362/浅間茂(1990)南房総調査報告書:97-105/山崎秀雄(1998)内浦山県民の森の昆虫類・千葉県自然環境保全地域等変遷調査報告書:64-80/鈴木裕(1994)千葉市のカメムシ類/宮内博至(2003)君津市でクロバアカサシガメ採集・房総の昆虫(31):7/大野正男(1975)ニホンザルの食料源としてみた高岩山の動物(第2報)/我孫子市(1994)我孫子市自然環境調査報告書:120-128/中根猛彦(1995)コガシラコバナナガカメムシの記録・房総の昆虫(22):72/立川周二(1975)ミズキを寄生植物とするカメムシ類について・Roastria24:153-154

(コウチュウ目)直海俊一郎(2004)房総の昆虫(32):56/倉西良一・房総の昆虫(33):20-21/(2005)月刊むし(416):37-38(ハチ目)房総の昆虫/八千代市水辺の自然環境報告書/市川市自然環境実態調査報告書/千葉市の保護上重要な野生生物・千葉市レッドリスト/千葉市野生動物の生息状況及び生態系調査報告書/鎌ヶ谷市史・資料編 自然/船橋市自然環境調査報告書/市原市自然環境実態調査報告書/我孫子市自然環境調査昆虫調査報告書/自然公園自然環境調査報告書/千葉県立中央博物館山の分館環境調査・要約版/日本の絶滅の恐れのある野生生物/レッドデータブック(埼玉県ほか)/神奈川県昆虫誌/埼玉県昆虫誌/とちぎの昆虫/茨城県の昆虫/皇居の生物相・昆虫相

(ハエ目)稲岡・渡辺(2002)千葉生物誌51巻/早川(1984)東北農試研究資料4巻/成田篤彦(1979)市原市の動物・市原市史/千葉県家畜衛生研究所(1994)吸血昆虫媒介疾病防疫対策強化事業平成5年度実施報告書/千葉県家畜衛生研究所(1995)吸血昆虫媒介疾病防疫対策強化事業平成6年度実施報告書

(トビケラ目)Nozaki, T and T. Kagaya (1994) A New Ernodes (Trichoptera, Beraeidae) from Japan. Japanese Journal of Entomology 62: 193-200/Botosaneanu, L., T. Nozaki and T. Kagaya (1995) Nippoberaea, gen. n. for Ernodes gracilis Nozaki and Kagaya, 1994 (Trichoptera: Beraeidae). Annales de la Societe Entomologique de France ns. 31: 179-184/平良裕之・倉西良一(2004)小系川上流(千葉県君津市豊英)の底生無脊椎動物相・千葉県立中央自然誌研究報告特別号7:47-86

(チョウ目チョウ類)柳澤勉(1977)野田市におけるクロシジミの記録・昆虫と自然12(1):9/渡辺弘(1999)県内で採集した蝶類数種について・房総の昆虫21:24/柳澤勉(1992)柏市近郊のチョウ採集記録集改訂版・自刊/丸山茂(1994)赤いちょう-ひょうもんどき-の思い出・房総の昆虫12:8/柳澤勉(1990)柏市近郊のチョウ採集記録集・自刊

岩阪佳和(2004)君津市東粟倉でウラキンシジミ越冬卵を確認・房総の昆虫32:26/岩阪佳和(2005)ふおとぎやらりー, 鴨川市嶺岡のシルビアシジミ2005・房総の昆虫34:80/青木直芳(2004)谷津の昆虫相調査第2次報告書3チョウ目(チョウ類).岡発戸・都部の谷津を愛する会:13-17/松井安俊(1994)柏市でウラギンヒョウモンを採集・房総の昆虫11:8/大塚市郎(2004)アサマイチモンジの茂原市と白子町での採集記録・房総の昆虫33:42/星光流・松井安俊(2004)アオバセセリの幼虫を栗原町と長南町で採集・房総の昆虫32:53/尾崎凜太郎ほか(2001)千葉県内でのミヤマセセリの採集例・房総の昆虫24:47/圓谷浩(2005)船橋市におけるミヤマチャバネセセリの観察記録・房総の昆虫34:23-25/斉藤清一(2003)木更津市真里谷と市原市山口でウラゴダラシジミを採集・房総の昆虫31:9/田久保豊一(2005)日光浴をするコツバメ・房総の昆虫34:表紙/岩阪佳和(2001)勝浦市西部地域各所でルーミスジミを多数採集・房総の昆虫27:11-12/大塚市郎(1998)1998年度採集会(君津市)で採集した蝶類・房総の昆虫20:18/和田義人(2003)市原市北東部のチョウ, 2002年の採集・目撃記録・房総の昆虫29:21-25/村野宏樹ほか(2003)松戸市でオオミドリシジミとヒオドシチョウを採集・房総の昆虫29:7/斉藤清一(2005)市原市と長柄町におけるオオムラサキ成虫および越冬幼虫の採集記録・房総の昆虫34:29/岩阪佳和(2004)鋸南町、鴨川市西部、富山町各地でヤマキマダラヒカゲを採集・房総の昆虫32:26/深川幸雄(2004)八千代市でオナガアゲハとナガサキアゲハを採集・房総の昆虫33:41/池田勝義(2004)我孫子市岡発戸・都部谷津のチョウ相・房総の昆虫32:41-50/尾崎凜太郎ほか(2004)木更津市でアカシジミおよびウラナミアカシジミを採集・房総の昆虫33:40/村野瑞樹ほか(2004)松戸市でウラナミアカシジミを採集・房総の昆虫33:39/尾崎凜太郎ほか(2004)千葉市でミドリシジミおよびオオミドリシジミを目撃・房総の昆虫33:41/木村巧(2004)市川市のチョウ類・市川市自然環境実態調査報告書2003:547-588/斉藤清一(2005)千葉県南部のミスジチョウ越冬幼虫の採集記録・房総の昆虫34:29/大塚市郎(2004)ジャノメチョウを茂原市と白子町で採集・房総の昆虫33:43/圓谷浩(2003)船橋市でグンイチモンジセセリとミヤマチャバネセセリを目撃・房総の昆虫31:12/大塚市郎(1999)都川水系(千葉市)におけるヒメキマダラセセリの採集記録と分布について・房総の昆虫22:77-78/佐藤隆士(2003)松戸市千駄堀のチョウ相・房総の昆虫29:9-19/三橋渡(2005)千葉県松戸市でアサギマダラを目撃・房総の昆虫34:27/横田隆夫(2004)佐倉市でオオチャバネセセリを確認・房総の昆虫32:23/鈴木智史(2003)減少傾向にあるミドリヒョウモン・房総の昆虫31:10-11

(チョウ目ガ類)藤平暁(2002)八千代市のガ類・八千代市水辺の自然環境調査報告書:223-243.八千代市/渡辺博(2003)栄町でクロフキオオメイガ他を採集・房総の昆虫(30):13.千葉県昆虫談話会/渡辺博(2004)印旛沼周辺で採集した蛾類について・房総の昆虫(32):52-53.千葉県昆虫談話会/藤平暁(2001)清和県民の森自然環境保全地域変遷調査報告(昆虫類チョウ目ガ).千葉県自然環境保全地域変遷調査報告書:100-140.千葉県/岩阪佳和(2004)富津市豊岡蟻谷国有林南部地域の蛾類目録・房総の昆虫(32):1-7.千葉県昆虫談話会/藤平暁(2003)市川市の蛾類(市川市自然環境実態報告書2003・総括):946-950.市川市自然環境調査会/増田宣雄(2003)庭(銚子)でハマオモトヨトウ発生・房総の昆虫(31):31.千葉県昆虫談話会/藤平暁(2004)ヤクシマキリガを千葉県で採集・蛾類通信(227):34.日本蛾類学会/清野元之(2001)市川市でイチモジヒメヨトウを採集・月刊むし(380):46.むし社/藤平暁(2003)市川市の蛾類(市川市自然環境実態調査報告書-2002):395-403.市川市自然環境調査会/渡辺博(2004)印旛沼周辺で採集した蛾類について・房総の昆虫(32):52-53.千葉県昆虫談話会

## (6) 甲殻類

### 選定基準について

甲殻類のレッドリスト改訂にあたり、陸産および陸水産甲殻類(主として等脚類)には変更はないが、十脚甲殻類には若干の変更がある。十脚甲殻類の詳細な調査が、-千葉県レッドデータブック-動物編(千葉県2000年)発行以降それに触発されて、千葉県内各地でおこなわれるに至った。また筆者自身による再度の調査をおこなった。その結果、下記のような変更をおこなった。なお評価基準そのものについては、千葉県レッドデータブック(2000)からの変更はない。

1) 新たにヌマエビ科のヒメヌマエビ、テナガエビ科のミナミテナガエビとヒラテテナガエビが、千葉県に少数生息し

ていることが、明らかになったので、これを加えた。

- 2) ベンケイガニについては、千葉県レッドデータブック（2000）発行時にあった主として九十九里浜とその周辺の生息地のうち、かなり大きな生息地のいくつかは、河川の護岸工事などで破壊された。そのため、ランクをCからBに引き上げた。
- 3) ランクに変更がないものの中には、2000年のレッドリスト時点で存在していた生息地は破壊されて消滅したものの、その後の調査で、新たな生息地が発見されたものもあり、このことについては、備考に加えた。
- 4) 新たにウモレベンケイガニが、ラムサール条約によって指定された谷津干潟から発見されたことは、特筆に値する。このことを、備考に書き加えた。

## 参考文献

市川市（2004）市川市自然環境実態調査報告書／鈴木弘之、芝原達也、有田茂生（2004）絶滅の恐れがある希少種ウモレベンケイガニの谷津干潟からの記録．千葉生物誌 53(1,2)：31-34／千葉県内水面水産試験場（1999）千葉県内水面水産試験場事業報告／新島偉行（2001）千葉県における淡水産十脚甲殻類の分布について．千葉生物誌 51(2)：59-81  
新島偉行（2002）千葉県における淡水産十脚甲殻類の分布について（II），ミナミヌマエビ *Neocaridina denticulata*（De Haan）．千葉生物誌 52(1)：25-26／千葉市（2004）千葉市の保護上重要な野生生物—千葉市レッドリスト—／千葉県環境生活部自然保護課（2005）平成16年度千葉県自然環境調査報告書．千葉県自然環境保全学術調査金山ダム（鴨川市）

## (7) 多足類

### 選定基準について

- 1) - 千葉県レッドデータブック - 動物編（千葉県2000年）では多足類4綱のうち、調査が不十分なエダヒゲムシ類とコムカデ類を除外し、ヤスデ類とムカデ類を評価対象とし、元都立小岩高等学校の篠原圭三郎がとりまとめを行った。今回の改訂にあたっては、ヤスデ類とムカデ類は獨協医科大学の石井清が評価の見直しを行った。また、県内の分布データの蓄積がみられたエダヒゲムシ類も評価対象に加え、千葉県立中央博物館の萩野康則が新たに評価を行った。
- 2) 選考カテゴリーは以下に掲げる千葉県レッドデータブック（2000）に従った。  
X（消息不明・絶滅生物）：県内から記載または記録されたが、その後、長年にわたって再採集されない種、及び分布上貴重で採集例が極端に少ない種。  
A（最重要保護生物）：個体数が極めて少なく、生息生育環境が極めて限られており、それらの環境の改変、あるいは保護対策がなされずに放置されれば、種の絶滅または千葉県から消滅する危機にあると考えられる種。  
B（重要保護生物）：個体数がかなり少なく、また生息生育環境が限られており、環境の改変によって生育環境が変われば近い将来カテゴリーAへの移行が想定される種。  
C（要保護生物）：個体数が少ないか、生息生育環境が限られており、それらの環境の改変によって個体数のかなりの減少が予想される種。  
D（一般保護生物）：個体数が少ないか、生息生育環境が限られており、それらの環境の改変によって個体数のかなりの減少が予想される種。

## 参考文献

Hagino, Y. (1991) A new species of the genus *Fagepauropus* (Pauropoda, Pauropodidae, Polypauropodinae) from central Japan. *Edaphologia* (47): 11-15 / 萩野康則 (1992a) 日本産エダヒゲムシ類 (Pauropoda) の新産地と新記録種. *Takakuwaia* (24): 85-97 / 萩野康則 (1992b) 日本産エダヒゲムシ類 (Pauropoda) 分類学の現状. *Edaphologia* (48): 35-46 / Hagino, Y. (1993) A new species of the genus *Allopauropus* (Pauropoda, Pauropodidae) from the Boso Peninsula, central Japan. *Nat. Hist. Res.* 2: 175-177 / 萩野康則 (2002) エダヒゲムシ綱. 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌. 本編 6. 千葉県の動物 1. 陸と淡水の動物: pp.297-299. 千葉県 / 萩野康則 (2003) 千葉県のエダヒゲムシ類 (第1報). *Takakuwaia* (32): 1-4 / Hagino, Y. (2005) Contribution to the knowledge of the Japanese pauropod fauna I: A cumulative list of identified pauropod specimens from Japan during 1985-2003. *Nat. Hist. Res.*, 8 (2): 15-51 / 石井清 (1977) ウスアカフサヤスデ *Monographis takakuwai takakuwai* MIYOSI の生活史について. *清澄* (6): 35-39 / Ishii, K. (1988a) On the significance of the mandible as a diagnostic character in the taxonomy of penicillate diplopods (Diplopoda: Polyxenidae). *Can. Ent.* 120: 955-963. / 石井清 (1996) 多足類. 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌. 本編 1. 千葉県の自然: pp.350-357. 千葉県 / 石井清 (2002a) ヤスデ綱. 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌. 本編 6. 千葉県の動物 1. 陸と淡水の動物: pp.287-296. 千葉県 / 石井清 (2002b) ムカデ綱. 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌. 本編 6. 千葉県の動物 1. 陸と淡水の動物: pp.300-310. 千葉県 / 石井清 (2004) ヤスデ・ムカデ. 自然環境研究センター (編), 千葉市の保護上重要な野

生生物- 千葉市レッドリスト- : pp.76-77 .千葉市環境局環境保全部環境保全推進課 .千葉市 / Ishii ,K .and H .Tamura (1994) Taxonomic study of the order Lithobioentipedes (Lithobiidae) from the Kanto area , central Japan . Edaphologia (52) : 1-18 / 石井清・山岡寛人 (1983) 清澄山の樹上営巢性アリ類の巣に共生するフサヤスデについての一例 . 清澄 (10) : 41

## (8) 貝類

### 選定基準について

貝類のレッドリスト改訂にあたり、いくつかの変更を行った。

- 1) 前回含めていなかった上部浅海带（潮下帯）の海産貝類を含めた。これは、特に東京湾等の内湾域で絶滅が危惧される種が多数存在していることによるためである。
- 2) 対象年代を前回同様に、基本的には明治期初頭に設定した。しかし、千葉市のレッドリスト作成時（黒住 2003）に行ったように、完新世の自然貝層（松島 1984）や貝塚（小宮・黒住 1999）等からのみ知られている主に小形の種でも、明治期初頭に生息していた可能性の高い種は今回掲載した。チリメンユキガイ等の中・大型で、明らかに明治期以前に滅んだものは対象から除いた。
- 3) 前は生息環境別にランクごとに示したが、今回は貝類全般として一括してランクごとに示した。同じランク内では、一般的な分類順に配列した。
- 4) 前回と同じく、種レベルで同定できなかったものは対象外とした。
- 5) 前回のリスト作成後、DNA 等の詳細な検討は行われていないものの、改訂委員が外来群と考えたハマグリ等で新たな定着が認められた。このような場合、委員会の合意に従い、前回のランクを踏襲し、備考にその由を記した。
- 6) 同様に、一部の種では逆に、前回の対象が外来群であったと考えた場合、ランクを変更し、備考にその由を記した。
- 7) 前回のリスト作成後の県内外での調査によって、一部の種のランクを変更した。

### 参考文献

松島義章 (1984) 日本列島における後氷期の浅海性貝類群集 特に環境変遷に伴うその時間・空間的変遷 . 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学) (15):37-109 / 飯島明子・風呂田利夫 (1999) 東京湾の底生動物 . In 千葉県動物誌, pp. 1203-1224 : 文一総合出版, 東京 / 石川公敏・風呂田利夫・小山利郎・山崎孝史 (1999) 東京湾の内湾域におけるマクロベントスの季節変化 . 月刊海洋 31(8) : 495-503 / 小宮孟・黒住耐二 (1999) コラムサンプルの解析結果と実信地区沖積貝層について . 市原市市原条理制遺跡, 千葉県文化財センター調査報告 (354) : 477-495 / 池田 等・倉持卓司・渡辺政美 (2001) 相模湾産レッドデータ 貝類 . 104 pp . 葉山しおさい博物館, 神奈川 / 清水利厚 (2001) 千葉県の軟体動物相 . 千葉水試研報(57) : 1-159 / 飯島明子・黒住耐二・風呂田利夫 (2002) 東京湾人工湖干潟に形成された絶滅危惧種の干潟産腹足類カワアイ *Cerithidea djadjariensis* (Martin) (軟体動物門, 腹足綱) の個体群 . 日本ベントス学会誌 57 : 34-37 / 黒住耐二 (2003) 貝類 . In 千葉市の保護上重要な野生生物 千葉市レッドリスト : pp.78-84 . 千葉市環境局 / 黒住耐二 (編) (2003) 多摩川水系の貝類からみた自然環境の現状把握と保全に関する研究 . (財)とつきゅう環境浄化財団 . 研究助成・学術研究 31(226) : 1-242 / 黒住耐二 (2005) 陸産貝類 . In レッドデータブックとちぎ : pp.575-591 . 栃木県林務部

## 9. お問い合わせ先

千葉県レッドデータブック、千葉県レッドリストについては下記までお問い合わせください。

千葉県庁環境生活部自然保護課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1 番 1 号

電話 (043) 223-2059

千葉県庁環境生活部自然保護課ホームページ

URL [http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e\\_shizen/index.html](http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_shizen/index.html)

### <改訂履歴>

1. レッドリスト(植物編) 公表…………… 1999年3月
2. レッドリスト(動物編) 公表…………… 2000年3月
3. シダ植物・種子植物 改訂…………… 2003年3月
4. 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類 改訂… 2004年3月  
シダ植物・種子植物 追加改訂
5. 動物編 改訂…………… 2006年3月

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
1	哺乳類 1	X 消息不明・絶滅生物	ヒナコウモリ科 ヤマコウモリ
2	哺乳類 2	X 消息不明・絶滅生物	イタチ科 ニホンカワウソ
3	哺乳類 3	X 消息不明・絶滅生物	アシカ科 アシカ
4	哺乳類 4	B 重要保護生物	ヒナコウモリ科 モモジロコウモリ
5	哺乳類 5	B 重要保護生物	イヌ科 キツネ
6	哺乳類 6	C 要保護生物	キクガシラコウモリ科 キクガシラコウモリ
7	哺乳類 7	C 要保護生物	キクガシラコウモリ科 コキクガシラコウモリ
8	哺乳類 8	C 要保護生物	リス科 ニホンリス
9	哺乳類 9	D 一般保護生物	トガリネズミ科 ジネズミ
10	哺乳類 10	D 一般保護生物	モグラ科 ヒミズ
11	哺乳類 11	D 一般保護生物	ヒナコウモリ科 * コビナガコウモリ
12	哺乳類 12	D 一般保護生物	オナガザル科 ** ニホンザル
13	哺乳類 13	D 一般保護生物	ネズミ科 * カヤネズミ
14	哺乳類 14	D 一般保護生物	ネズミ科 * ヒメネズミ
15	哺乳類 15	D 一般保護生物	イタチ科 * テン
16	哺乳類 16	D 一般保護生物	イタチ科 * アナグマ
17	哺乳類 17	D 一般保護生物	ネズミイルカ科 * スナメリ
18	哺乳類 18	情報不足	ヒナコウモリ科 ** ヒナコウモリ
19	鳥類 1	X 消息不明・絶滅生物	サギ科 オオヨシゴイ
20	鳥類 2	X 消息不明・絶滅生物	コウノトリ科 コウノトリ
21	鳥類 3	X 消息不明・絶滅生物	トキ科 トキ
22	鳥類 4	X 消息不明・絶滅生物	トキ科 クロトキ
23	鳥類 5	X 消息不明・絶滅生物	カモ科 マガン
24	鳥類 6	X 消息不明・絶滅生物	カモ科 カリガネ
25	鳥類 7	X 消息不明・絶滅生物	カモ科 ヒシクイ
26	鳥類 8	X 消息不明・絶滅生物	カモ科 ハクガン
27	鳥類 9	X 消息不明・絶滅生物	カモ科 サカツラガン
28	鳥類 10	X 消息不明・絶滅生物	クイナ科 ヒメクイナ
29	鳥類 11	X 消息不明・絶滅生物	シギ科 アオシギ
30	鳥類 12	X 消息不明・絶滅生物	シギ科 コシギ
31	鳥類 13	X 消息不明・絶滅生物	ハト科 カラスバト
32	鳥類 14	X 消息不明・絶滅生物	ヤイロチョウ科 * ヤイロチョウ
33	鳥類 15	X 消息不明・絶滅生物	サンショウクイ科 サンショウクイ
34	鳥類 16	X 消息不明・絶滅生物	モズ科 チゴモズ
35	鳥類 17	X 消息不明・絶滅生物	モズ科 アカモズ
36	鳥類 18	A 最重要保護生物	サギ科 サンカノゴイ
37	鳥類 19	A 最重要保護生物	サギ科 ヨシゴイ
38	鳥類 20	A 最重要保護生物	サギ科 ミソゴイ
39	鳥類 21	A 最重要保護生物	サギ科 カラシラサギ
40	鳥類 22	A 最重要保護生物	トキ科 クロツラヘラサギ
41	鳥類 23	A 最重要保護生物	カモ科 アカハジロ
42	鳥類 24	A 最重要保護生物	タカ科 * サシバ
43	鳥類 25	A 最重要保護生物	タカ科 * チュウヒ
44	鳥類 26	A 最重要保護生物	キジ科 ウズラ
45	鳥類 27	A 最重要保護生物	クイナ科 クイナ
46	鳥類 28	A 最重要保護生物	クイナ科 ヒクイナ
47	鳥類 29	A 最重要保護生物	クイナ科 シマクイナ
48	鳥類 30	A 最重要保護生物	タマシギ科 タマシギ
49	鳥類 31	A 最重要保護生物	ミヤコドリ科 ミヤコドリ
50	鳥類 32	A 最重要保護生物	チドリ科 * シロチドリ
51	鳥類 33	A 最重要保護生物	チドリ科 ケリ
52	鳥類 34	A 最重要保護生物	シギ科 ヘラシギ
53	鳥類 35	A 最重要保護生物	シギ科 シベリアオオハシシギ
54	鳥類 36	A 最重要保護生物	シギ科 カラフトアオアシシギ
55	鳥類 37	A 最重要保護生物	シギ科 ダイシャクシギ
56	鳥類 38	A 最重要保護生物	シギ科 ホウロクシギ
57	鳥類 39	A 最重要保護生物	シギ科 ハリモモチュウシャクシギ
58	鳥類 40	A 最重要保護生物	シギ科 * チュウジシギ
59	鳥類 41	A 最重要保護生物	シギ科 オオジシギ
60	鳥類 42	A 最重要保護生物	セイタカシギ科 * セイタカシギ
61	鳥類 43	A 最重要保護生物	ツバメチドリ科 * ツバメチドリ
62	鳥類 44	A 最重要保護生物	カモメ科 ズクロカモメ
63	鳥類 45	A 最重要保護生物	カモメ科 * コアジサシ
64	鳥類 46	A 最重要保護生物	カモメ科 アカアシツユビカモメ
65	鳥類 47	A 最重要保護生物	ウミスズメ科 ケイマフリ
66	鳥類 48	A 最重要保護生物	ウミスズメ科 カンムリウミスズメ
67	鳥類 49	A 最重要保護生物	フクロウ科 * アオバズク

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
68	鳥類 50	A 最重要保護生物	ヨタカ科 ヨタカ
69	鳥類 51	A 最重要保護生物	アマツバメ科 アマツバメ
70	鳥類 52	A 最重要保護生物	ツグミ科 * クロツグミ
71	鳥類 53	A 最重要保護生物	ウグイス科 オオセッカ
72	鳥類 54	A 最重要保護生物	ヒタキ科 * コサメビタキ
73	鳥類 55	A 最重要保護生物	カササギヒタキ科 サンコウチョウ
74	鳥類 56	A 最重要保護生物	ホオジロ科 コジュリン
75	鳥類 57	B 重要保護生物	ウ科 ウミウ
76	鳥類 58	B 重要保護生物	サギ科 チュウサギ
77	鳥類 59	B 重要保護生物	カモ科 コクガン
78	鳥類 60	B 重要保護生物	カモ科 オシドリ
79	鳥類 61	B 重要保護生物	カモ科 トモエガモ
80	鳥類 62	B 重要保護生物	カモ科 ヨシガモ
81	鳥類 63	B 重要保護生物	カモ科 * ホオジロガモ
82	鳥類 64	B 重要保護生物	タカ科 ミサゴ
83	鳥類 65	B 重要保護生物	タカ科 ハチクマ
84	鳥類 66	B 重要保護生物	タカ科 オオタカ
85	鳥類 67	B 重要保護生物	タカ科 ツミ
86	鳥類 68	B 重要保護生物	タカ科 ハイタカ
87	鳥類 69	B 重要保護生物	ハヤブサ科 ハヤブサ
88	鳥類 70	B 重要保護生物	クイナ科 * バン
89	鳥類 71	B 重要保護生物	チドリ科 コチドリ
90	鳥類 72	B 重要保護生物	シギ科 チシマシギ
91	鳥類 73	B 重要保護生物	シギ科 * ハマシギ
92	鳥類 74	B 重要保護生物	シギ科 * キリアイ
93	鳥類 75	B 重要保護生物	シギ科 * ツルシギ
94	鳥類 76	B 重要保護生物	シギ科 * タカブシギ
95	鳥類 77	B 重要保護生物	シギ科 イソシギ
96	鳥類 78	B 重要保護生物	ウミスズメ科 * マダラウミスズメ
97	鳥類 79	B 重要保護生物	ウミスズメ科 ウミスズメ
98	鳥類 80	B 重要保護生物	ハト科 アオバト
99	鳥類 81	B 重要保護生物	フクロウ科 コミミズク
100	鳥類 82	B 重要保護生物	フクロウ科 オオコノハズク
101	鳥類 83	B 重要保護生物	フクロウ科 フクロウ
102	鳥類 84	B 重要保護生物	カワセミ科 ヤマセミ
103	鳥類 85	B 重要保護生物	ツバメ科 コシアカツバメ
104	鳥類 86	B 重要保護生物	セキレイ科 * キセキレイ
105	鳥類 87	B 重要保護生物	ヒタキ科 キビタキ
106	鳥類 88	B 重要保護生物	ヒタキ科 オオルリ
107	鳥類 89	C 要保護生物	カイツブリ科 カイツブリ
108	鳥類 90	C 要保護生物	ウ科 ヒメウ
109	鳥類 91	C 要保護生物	サギ科 ダイサギ
110	鳥類 92	C 要保護生物	サギ科 コサギ
111	鳥類 93	C 要保護生物	サギ科 クロサギ
112	鳥類 94	C 要保護生物	カモ科 オカヨシガモ
113	鳥類 95	C 要保護生物	カモ科 * ビロードキンクロ
114	鳥類 96	C 要保護生物	タカ科 トビ
115	鳥類 97	C 要保護生物	タカ科 オジロワシ
116	鳥類 98	C 要保護生物	タカ科 オオワシ
117	鳥類 99	C 要保護生物	タカ科 ノスリ
118	鳥類 100	C 要保護生物	ハヤブサ科 チョウゲンボウ
119	鳥類 101	C 要保護生物	キジ科 ヤマドリ
120	鳥類 102	C 要保護生物	ツル科 クロツル
121	鳥類 103	C 要保護生物	ツル科 ナベツル
122	鳥類 104	C 要保護生物	ツル科 カナダツル
123	鳥類 105	C 要保護生物	ツル科 マナツル
124	鳥類 106	C 要保護生物	クイナ科 オオバン
125	鳥類 107	C 要保護生物	チドリ科 * イカルチドリ
126	鳥類 108	C 要保護生物	チドリ科 * メダイチドリ
127	鳥類 109	C 要保護生物	チドリ科 * ダイゼン
128	鳥類 110	C 要保護生物	チドリ科 * タグリ
129	鳥類 111	C 要保護生物	シギ科 * キョウジョシギ
130	鳥類 112	C 要保護生物	シギ科 * トウネン
131	鳥類 113	C 要保護生物	シギ科 * ウズラシギ
132	鳥類 114	C 要保護生物	シギ科 * オバシギ
133	鳥類 115	C 要保護生物	シギ科 * キアシシギ
134	鳥類 116	C 要保護生物	シギ科 * ソリハシシギ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
「\*\*」は特に留意が必要な種



千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
135	鳥類 117	C 要保護生物	シギ科 * オグロシギ
136	鳥類 118	C 要保護生物	シギ科 * オオソリハシシギ
137	鳥類 119	C 要保護生物	カモメ科 アジサシ
138	鳥類 120	C 要保護生物	カモメ科 ベニアジサシ
139	鳥類 121	C 要保護生物	カモメ科 セグロアジサシ
140	鳥類 122	C 要保護生物	ハト科 シラコバト
141	鳥類 123	C 要保護生物	カッコウ科 カッコウ
142	鳥類 124	C 要保護生物	カッコウ科 ツツドリ
143	鳥類 125	C 要保護生物	カッコウ科 ホトトギス
144	鳥類 126	C 要保護生物	フクロウ科 トラフズク
145	鳥類 127	C 要保護生物	カワセミ科 カワセミ
146	鳥類 128	C 要保護生物	アマツバメ科 * ヒメアマツバメ
147	鳥類 129	C 要保護生物	キツツキ科 アオゲラ
148	鳥類 130	C 要保護生物	キツツキ科 アカゲラ
149	鳥類 131	C 要保護生物	ミソサザイ科 ミソサザイ
150	鳥類 132	C 要保護生物	イワヒバリ科 * イワヒバリ
151	鳥類 133	C 要保護生物	ツグミ科 イソヒヨドリ
152	鳥類 134	C 要保護生物	ツグミ科 アカコッコ
153	鳥類 135	C 要保護生物	ウグイス科 ヤブサメ
154	鳥類 136	C 要保護生物	ウグイス科 センダイムシクイ
155	鳥類 137	C 要保護生物	エナガ科 エナガ
156	鳥類 138	C 要保護生物	シジュウカラ科 ヤマガラ
157	鳥類 139	C 要保護生物	メジロ科 メジロ
158	鳥類 140	C 要保護生物	ホオジロ科 ホオジロ
159	鳥類 141	C 要保護生物	ホオジロ科 ホオアカ
160	鳥類 142	C 要保護生物	アトリ科 * ハギマシコ
161	鳥類 143	C 要保護生物	カラス科 カケス
162	鳥類 144	D 一般保護生物	カイツブリ科 カンムリカイツブリ
163	鳥類 145	D 一般保護生物	ウ科 * カワウ
164	鳥類 146	D 一般保護生物	サギ科 * アオサギ
165	鳥類 147	D 一般保護生物	カモ科 * スズガモ
166	鳥類 148	D 一般保護生物	カモ科 クロガモ
167	鳥類 149	D 一般保護生物	カモ科 シノリガモ
168	鳥類 150	D 一般保護生物	カモ科 ウミアイサ
169	鳥類 151	D 一般保護生物	チドリ科 * ムナグロ
170	鳥類 152	D 一般保護生物	シギ科 * ミユビシギ
171	鳥類 153	D 一般保護生物	シギ科 アカアシシギ
172	鳥類 154	D 一般保護生物	シギ科 * アオアシシギ
173	鳥類 155	D 一般保護生物	シギ科 * クサシギ
174	鳥類 156	D 一般保護生物	シギ科 * チュウシャクシギ
175	鳥類 157	D 一般保護生物	ヒバリ科 ヒバリ
176	鳥類 158	D 一般保護生物	ツバメ科 ツバメ
177	鳥類 159	D 一般保護生物	ツバメ科 イワツバメ
178	鳥類 160	D 一般保護生物	セキレイ科 セグロセキレイ
179	鳥類 161	D 一般保護生物	イワヒバリ科 カヤクグリ
180	鳥類 162	D 一般保護生物	ツグミ科 トラツグミ
181	鳥類 163	D 一般保護生物	ウグイス科 ウグイス
182	鳥類 164	D 一般保護生物	ウグイス科 コヨシキリ
183	鳥類 165	D 一般保護生物	ウグイス科 オオヨシキリ
184	鳥類 166	D 一般保護生物	ウグイス科 セッカ
185	鳥類 167	D 一般保護生物	ホオジロ科 クロジ
186	鳥類 168	D 一般保護生物	ホオジロ科 * オオジュリン
187	鳥類 169	D 一般保護生物	アトリ科 イカル
188	爬虫類 1	X 消息不明・絶滅生物	スッポン科 スッポン
189	爬虫類 2	A 最重要保護生物	ウミガメ科 アカウミガメ
190	爬虫類 3	B 重要保護生物	イシガメ科 ニホンイシガメ
191	爬虫類 4	B 重要保護生物	トカゲ科 ニホントカゲ
192	爬虫類 5	B 重要保護生物	ヘビ科 シロマダラ
193	爬虫類 6	B 重要保護生物	クサリヘビ科 ニホンマムシ
194	爬虫類 7	B 重要保護生物	ヘビ科 ジムグリ
195	爬虫類 8	C 要保護生物	イシガメ科 クサガメ
196	爬虫類 9	C 要保護生物	ヘビ科 シマヘビ
197	爬虫類 10	D 一般保護生物	ヘビ科 アオダイショウ
198	爬虫類 11	D 一般保護生物	ヘビ科 ヒバカリ
199	爬虫類 12	D 一般保護生物	ヘビ科 ヤマカガシ
200	爬虫類 13	D 一般保護生物	カナヘビ科 ニホンカナヘビ
201	爬虫類 14	D 一般保護生物	ヤモリ科 ニホンヤモリ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
 「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
202	両生類 1	A 最重要保護生物	イモリ科 アカハライモリ
203	両生類 2	A 最重要保護生物	アカガエル科 ツチガエル
204	両生類 3	A 最重要保護生物	アカガエル科 ニホンアカガエル
205	両生類 4	B 重要保護生物	アオガエル科 カジカガエル
206	両生類 5	B 重要保護生物	アカガエル科 タゴガエル
207	両生類 6	B 重要保護生物	アカガエル科 トウキョウダルマガエル
208	両生類 7	B 重要保護生物	サンショウウオ科 トウキョウサンショウウオ
209	両生類 8	C 要保護生物	アオガエル科 モリアオガエル
210	両生類 9	C 要保護生物	アカガエル科 ヤマアカガエル
211	両生類 10	C 要保護生物	ヒキガエル科 アズマヒキガエル
212	両生類 11	D 一般保護生物	アオガエル科 シュレーゲルアオガエル
213	魚類 1	X 消息不明・絶滅生物	キス科 アオギス
214	魚類 2	X 消息不明・絶滅生物	コイ科 * ゼニタナゴ
215	魚類 3	A 最重要保護生物	コイ科 ミヤコタナゴ
216	魚類 4	A 最重要保護生物	ハゼ科 トビハゼ
217	魚類 5	B 重要保護生物	ヤツメウナギ科 スナヤツメ
218	魚類 6	B 重要保護生物	コイ科 タナゴ
219	魚類 7	B 重要保護生物	ギギ科 ギバチ
220	魚類 8	B 重要保護生物	メダカ科 メダカ
221	魚類 9	B 重要保護生物	ハゼ科 ジュズカケハゼ
222	魚類 10	C 要保護生物	シラウオ科 シラウオ
223	魚類 11	C 要保護生物	コイ科 ヤリタナゴ
224	魚類 12	C 要保護生物	コイ科 アカヒレタビラ
225	魚類 13	C 要保護生物	コイ科 ** アブラハヤ
226	魚類 14	C 要保護生物	コイ科 キンブナ
227	魚類 15	C 要保護生物	ドジョウ科 シマドジョウ
228	魚類 16	C 要保護生物	ドジョウ科 ホトケドジョウ
229	魚類 17	D 一般保護生物	コイ科 モツゴ
230	魚類 18	D 一般保護生物	ハゼ科 ビリンゴ
231	魚類 19	D 一般保護生物	ハゼ科 シロウオ
232	魚類 20	D 一般保護生物	ハゼ科 エドハゼ
233	魚類 21	D 一般保護生物	ハゼ科 ヌマチチブ
234	魚類 22	D 一般保護生物	ハゼ科 * チクゼンハゼ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
235	昆虫類 1	A 最重要保護生物	カゲロウ目 ヒトリガカゲロウ科 ヒトリガカゲロウ
236	昆虫類 2	A 最重要保護生物	カゲロウ目 ヒラタカゲロウ科 サトキハダヒラタカゲロウ
237	昆虫類 3	D 一般保護生物	カゲロウ目 シロイロカゲロウ科 アカツキシロカゲロウ
238	昆虫類 4	X 消息不明・絶滅生物	トンボ目 アオイトトンボ科 コバネアオイトトンボ
239	昆虫類 5	X 消息不明・絶滅生物	トンボ目 カワトンボ科 * アオハダトンボ
240	昆虫類 6	X 消息不明・絶滅生物	トンボ目 トンボ科 ベッコウトンボ
241	昆虫類 7	X 消息不明・絶滅生物	トンボ目 トンボ科 * ミヤマアカネ
242	昆虫類 8	X 消息不明・絶滅生物	トンボ目 トンボ科 オオキトンボ
243	昆虫類 9	A 最重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 ホソミイトトンボ
244	昆虫類 10	A 最重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 オオセズイトトンボ
245	昆虫類 11	A 最重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 ベニイトトンボ
246	昆虫類 12	A 最重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 ヒヌマイイトトンボ
247	昆虫類 13	A 最重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 * モートンイトトンボ
248	昆虫類 14	A 最重要保護生物	トンボ目 モノサシトンボ科 オオモノサシトンボ
249	昆虫類 15	A 最重要保護生物	トンボ目 アオイトトンボ科 オツネントンボ
250	昆虫類 16	A 最重要保護生物	トンボ目 カワトンボ科 * カワトンボの地域個体群(シロバネカワトンボ)
251	昆虫類 17	A 最重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ミヤマサナエ
252	昆虫類 18	A 最重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 オジロサナエ
253	昆虫類 19	A 最重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ナゴヤサナエ
254	昆虫類 20	A 最重要保護生物	トンボ目 エゾトンボ科 トラフトンボ
255	昆虫類 21	A 最重要保護生物	トンボ目 エゾトンボ科 キイロヤマトンボ
256	昆虫類 22	A 最重要保護生物	トンボ目 エゾトンボ科 ハネビロエゾトンボ
257	昆虫類 23	A 最重要保護生物	トンボ目 エゾトンボ科 エゾトンボ
258	昆虫類 24	A 最重要保護生物	トンボ目 トンボ科 ヨツボシトンボ
259	昆虫類 25	A 最重要保護生物	トンボ目 トンボ科 キトンボ
260	昆虫類 26	A 最重要保護生物	トンボ目 トンボ科 ヒメアカネ
261	昆虫類 27	A 最重要保護生物	トンボ目 トンボ科 ネキトンボ
262	昆虫類 28	B 重要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 ムスジイトトンボ
263	昆虫類 29	B 重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 キイロサナエ
264	昆虫類 30	B 重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ホンサナエ
265	昆虫類 31	B 重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 アオサナエ
266	昆虫類 32	B 重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 オナガサナエ
267	昆虫類 33	B 重要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 コサナエ
268	昆虫類 34	B 重要保護生物	トンボ目 ヤンマ科 ネアカヨシヤンマ
269	昆虫類 35	B 重要保護生物	トンボ目 ヤンマ科 アオヤンマ
270	昆虫類 36	B 重要保護生物	トンボ目 ヤンマ科 カトリヤンマ
271	昆虫類 37	B 重要保護生物	トンボ目 エゾトンボ科 タカネトンボ
272	昆虫類 38	B 重要保護生物	トンボ目 トンボ科 * ハラビロトンボ
273	昆虫類 39	B 重要保護生物	トンボ目 トンボ科 * リスアカネ
274	昆虫類 40	C 要保護生物	トンボ目 イトトンボ科 * キイトトンボ
275	昆虫類 41	C 要保護生物	トンボ目 モノサシトンボ科 モノサシトンボ
276	昆虫類 42	C 要保護生物	トンボ目 アオイトトンボ科 アオイトトンボ
277	昆虫類 43	C 要保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ダビドサナエ
278	昆虫類 44	C 要保護生物	トンボ目 ヤンマ科 マルタンヤンマ
279	昆虫類 45	C 要保護生物	トンボ目 ヤンマ科 コシボツヤンマ
280	昆虫類 46	D 一般保護生物	トンボ目 イトトンボ科 セスジイトトンボ
281	昆虫類 47	D 一般保護生物	トンボ目 イトトンボ科 オオイトトンボ
282	昆虫類 48	D 一般保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ヤマサナエ
283	昆虫類 49	D 一般保護生物	トンボ目 サナエトンボ科 ウチワヤンマ
284	昆虫類 50	D 一般保護生物	トンボ目 ヤンマ科 クロスジギンヤンマ
285	昆虫類 51	D 一般保護生物	トンボ目 ヤンマ科 サラサヤンマ
286	昆虫類 52	D 一般保護生物	トンボ目 ヤンマ科 ヤブヤンマ
287	昆虫類 53	D 一般保護生物	トンボ目 トンボ科 チョウトンボ
288	昆虫類 54	D 一般保護生物	トンボ目 トンボ科 コノシメトンボ
289	昆虫類 55	A 最重要保護生物	カワゲラ目 アミメカワゲラ科 * スズクサカワゲラ(ミドリカワゲラモドキ)
290	昆虫類 56	D 一般保護生物	カワゲラ目 カワゲラ科 クロヒゲカワゲラ(クロヒゲカミムラカワゲラ)
291	昆虫類 57	D 一般保護生物	ゴキブリ目 オオゴキブリ科 オオゴキブリ
292	昆虫類 58	X 消息不明・絶滅生物	バッタ目 バッタ科 * アカハネバッタ
293	昆虫類 59	A 最重要保護生物	バッタ目 ヒバリモドキ科 * ハマスズ
294	昆虫類 60	A 最重要保護生物	バッタ目 コオロギ科 オオオカメコオロギ
295	昆虫類 61	A 最重要保護生物	バッタ目 コオロギ科 クロツヤコオロギ
296	昆虫類 62	A 最重要保護生物	バッタ目 コオロギ科 ヤマトチビスズ(リュウキュウチビスズ)
297	昆虫類 63	A 最重要保護生物	バッタ目 マツムシ科 カヤコオロギ
298	昆虫類 64	A 最重要保護生物	バッタ目 キリギリス科 カスミササキリ
299	昆虫類 65	A 最重要保護生物	バッタ目 キリギリス科 オオクサキリ
300	昆虫類 66	A 最重要保護生物	バッタ目 バッタ科 ヤマトマダラバッタ(ヤマトバッタ)
301	昆虫類 67	A 最重要保護生物	バッタ目 バッタ科 * イナゴモドキ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
 「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
302	昆虫類 68	A 最重要保護生物	バッタ目 イナゴ科 セグロイナゴ(セグロバッタ)
303	昆虫類 69	B 重要保護生物	バッタ目 コオロギ科 コガタコオロギ
304	昆虫類 70	B 重要保護生物	バッタ目 キリギリス科 ヒサゴクサキリ
305	昆虫類 71	B 重要保護生物	バッタ目 ヒシバッタ科 ボウソウサワヒシバッタ
306	昆虫類 72	C 要保護生物	カマキリ目 ヒメカマキリ科 ヒメカマキリ
307	昆虫類 73	C 要保護生物	バッタ目 マツムシ科 マツムシ
308	昆虫類 74	C 要保護生物	バッタ目 キリギリス科 クツワムシ
309	昆虫類 75	C 要保護生物	ナナフシ目 ナナフシ科 トゲナナフシ
310	昆虫類 76	D 一般保護生物	カマキリ目 カマキリ科 ヒナカマキリ
311	昆虫類 77	D 一般保護生物	バッタ目 コオロギ科 クチキコオロギ
312	昆虫類 78	D 一般保護生物	バッタ目 コオロギ科 ナツノツツレサセコオロギ
313	昆虫類 79	D 一般保護生物	バッタ目 カネタタキ科 イソカネタタキ
314	昆虫類 80	D 一般保護生物	バッタ目 バッタ科 ショウリョウバッタモドキ
315	昆虫類 81	X 消息不明・絶滅生物	カメムシ目 コバンムシ科 * コバンムシ
316	昆虫類 82	A 最重要保護生物	カメムシ目 セミ科 ハルゼミ
317	昆虫類 83	A 最重要保護生物	カメムシ目 コオイムシ科 タガメ
318	昆虫類 84	A 最重要保護生物	カメムシ目 サシガメ科 アダチアカサシガメ
319	昆虫類 85	A 最重要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 キウシュウクチブカメムシ
320	昆虫類 86	B 重要保護生物	カメムシ目 イトアメンボ科 * イトアメンボ
321	昆虫類 87	B 重要保護生物	カメムシ目 アメンボ科 * ハネナシアメンボ
322	昆虫類 88	B 重要保護生物	カメムシ目 アメンボ科 * ヤスマツアメンボ
323	昆虫類 89	B 重要保護生物	カメムシ目 アメンボ科 エサキアメンボ
324	昆虫類 90	B 重要保護生物	カメムシ目 タイコウチ科 * ヒメミズカマキリ
325	昆虫類 91	B 重要保護生物	カメムシ目 マキバサシガメ科 * キバネアシブトマキバサシガメ
326	昆虫類 92	B 重要保護生物	カメムシ目 サシガメ科 * アカヘリサシガメ
327	昆虫類 93	B 重要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 * オオクチブトカメムシ
328	昆虫類 94	C 要保護生物	カメムシ目 セミ科 * ヒメハルゼミ
329	昆虫類 95	C 要保護生物	カメムシ目 クビナガカメムシ科 * クロクビナガカメムシ
330	昆虫類 96	C 要保護生物	カメムシ目 カタピロアメンボ科 ケシウミアメンボ
331	昆虫類 97	C 要保護生物	カメムシ目 マキバサシガメ科 ベニモンマキバサシガメ
332	昆虫類 98	C 要保護生物	カメムシ目 ハナカメムシ科 * ズイムシハナカメムシ
333	昆虫類 99	C 要保護生物	カメムシ目 サシガメ科 * クロバアカサシガメ
334	昆虫類 100	C 要保護生物	カメムシ目 ヘリカメムシ科 アズキヘリカメムシ
335	昆虫類 101	C 要保護生物	カメムシ目 クヌギカメムシ科 ナシカメムシ
336	昆虫類 102	C 要保護生物	カメムシ目 ツチカメムシ科 ヨコツナツチカメムシ
337	昆虫類 103	C 要保護生物	カメムシ目 ツチカメムシ科 フタバシツチカメムシ
338	昆虫類 104	C 要保護生物	カメムシ目 キンカメムシ科 オオキンカメムシ
339	昆虫類 105	C 要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 トゲカメムシ
340	昆虫類 106	C 要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 * イネカメムシ
341	昆虫類 107	C 要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 * フタテシカメムシ
342	昆虫類 108	C 要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 * トホシカメムシ
343	昆虫類 109	C 要保護生物	カメムシ目 カメムシ科 スコットカメムシ
344	昆虫類 110	C 要保護生物	カメムシ目 ツノカメムシ科 ベニモンツノカメムシ
345	昆虫類 111	D 一般保護生物	カメムシ目 アメンボ科 オオアメンボ
346	昆虫類 112	D 一般保護生物	カメムシ目 ナガカメムシ科 セスジナガカメムシ
347	昆虫類 113	D 一般保護生物	カメムシ目 ナガカメムシ科 ヒメマダラナガカメムシ
348	昆虫類 114	D 一般保護生物	カメムシ目 ナガカメムシ科 コガシラコバナナガカメムシ(ケバカホソコバナナガカメムシ)
349	昆虫類 115	X 消息不明・絶滅生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 ゲンゴロウ
350	昆虫類 116	X 消息不明・絶滅生物	コウチュウ目 コガネムシ科 * ダイコクコガネ
351	昆虫類 117	X 消息不明・絶滅生物	コウチュウ目 ハムシ科 キイロネクイハムシ
352	昆虫類 118	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ハンミョウ科 ホソハンミョウ
353	昆虫類 119	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ハンミョウ科 カワラハンミョウ
354	昆虫類 120	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 クロカタピロオサムシ
355	昆虫類 121	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 コハンミョウモドキ
356	昆虫類 122	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 キバネキバナガミズギワゴミムシ
357	昆虫類 123	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 オオキバナガミズギワゴミムシ
358	昆虫類 124	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 ギョウトクコミズギワゴミムシ
359	昆虫類 125	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 ハマベゴミムシ
360	昆虫類 126	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 クマガイクロアオゴミムシ
361	昆虫類 127	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 キイロホソゴミムシ
362	昆虫類 128	A 最重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 イスミナガゴミムシ
363	昆虫類 129	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 コガタノゲンゴロウ
364	昆虫類 130	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 シャープゲンゴロウモドキ
365	昆虫類 131	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 オオイチモンジシマゲンゴロウ
366	昆虫類 132	A 最重要保護生物	コウチュウ目 クワガタムシ科 * ネットクワガタ
367	昆虫類 133	A 最重要保護生物	コウチュウ目 クワガタムシ科 * オオクワガタ
368	昆虫類 134	A 最重要保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 * トゲフタオタマムシ

\*は2006年改訂版で変更等があったもの  
\*\*は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
369	昆虫類 135	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ホタル科 * ヒメボタル
370	昆虫類 136	A 最重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 オオトラカミキリ
371	昆虫類 137	A 最重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ハンノキカミキリ
372	昆虫類 138	A 最重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 アサカミキリ
373	昆虫類 139	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 * クロマメゾウムシ
374	昆虫類 140	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 * オオネクイハムシ
375	昆虫類 141	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 ウスグロタマノミハムシ
376	昆虫類 142	A 最重要保護生物	コウチュウ目 ゾウムシ科 ハマベゾウムシ
377	昆虫類 143	B 重要保護生物	アミメカゲロウ目 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ
378	昆虫類 144	B 重要保護生物	コウチュウ目 ハンミョウ科 アイヌハンミョウ
379	昆虫類 145	B 重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 アカガネオサムシ
380	昆虫類 146	B 重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 セアカオサムシ
381	昆虫類 147	B 重要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 オオマルクビゴミムシ
382	昆虫類 148	B 重要保護生物	コウチュウ目 クワガタムシ科 * ヒラタクワガタ
383	昆虫類 149	B 重要保護生物	コウチュウ目 コブスジコガネ科 * オオコブスジコガネ
384	昆虫類 150	B 重要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 * アカマダラセンコガネ
385	昆虫類 151	B 重要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 * アカマダラハナムグリ
386	昆虫類 152	B 重要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 * オオフタホシマダラコガネ
387	昆虫類 153	B 重要保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 アオタマムシ
388	昆虫類 154	B 重要保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 クロマダラタマムシ
389	昆虫類 155	B 重要保護生物	コウチュウ目 ホタル科 ゲンジボタル
390	昆虫類 156	B 重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 * ベーツヒラタカミキリ
391	昆虫類 157	B 重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ヨツボシカミキリ
392	昆虫類 158	B 重要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 アカアシオオアオカミキリ
393	昆虫類 159	B 重要保護生物	コウチュウ目 ヒゲナガゾウムシ科 クロホシチビヒゲナガゾウムシ
394	昆虫類 160	B 重要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 スゲハムシ
395	昆虫類 161	B 重要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 オオルリハムシ
396	昆虫類 162	B 重要保護生物	コウチュウ目 ゾウムシ科 ウキクサミズゾウムシ
397	昆虫類 163	C 要保護生物	アミメカゲロウ目 ツトトンボ科 ツトトンボ
398	昆虫類 164	C 要保護生物	コウチュウ目 カワラゴミムシ科 * カワラゴミムシ
399	昆虫類 165	C 要保護生物	コウチュウ目 ハンミョウ科 * シロヘリハンミョウ
400	昆虫類 166	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 * エサキオサムシ
401	昆虫類 167	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 * ヒメマイマイカブリ
402	昆虫類 168	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 キベリマルクビゴミムシ
403	昆虫類 169	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 * オサムシモドキ
404	昆虫類 170	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 キバナガミズギワゴミムシ
405	昆虫類 171	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 カジムラヒメナガゴミムシ
406	昆虫類 172	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 コハラアカモリヒラタゴミムシ
407	昆虫類 173	C 要保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 カズサヒラタゴミムシ
408	昆虫類 174	C 要保護生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 トダセスジゲンゴロウ
409	昆虫類 175	C 要保護生物	コウチュウ目 ミズスマシ科 オオミズスマシ
410	昆虫類 176	C 要保護生物	コウチュウ目 ミズスマシ科 ヒメミズスマシ
411	昆虫類 177	C 要保護生物	コウチュウ目 ミズスマシ科 ミズスマシ
412	昆虫類 178	C 要保護生物	コウチュウ目 ガムシ科 * ガムシ
413	昆虫類 179	C 要保護生物	コウチュウ目 エンマムシ科 ツヤハマベエンマムシ
414	昆虫類 180	C 要保護生物	コウチュウ目 エンマムシ科 ニセハマベエンマムシ
415	昆虫類 181	C 要保護生物	コウチュウ目 シデムシ科 * ヤマトモンシデムシ
416	昆虫類 182	C 要保護生物	コウチュウ目 クシヒゲムシ科 クチキクシヒゲムシ
417	昆虫類 183	C 要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 ヤマトケシマダラコガネ
418	昆虫類 184	C 要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 ヒゲフトハナムグリ
419	昆虫類 185	C 要保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 シロスジコガネ
420	昆虫類 186	C 要保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 * クロタマムシ
421	昆虫類 187	C 要保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 * アオマダラタマムシ
422	昆虫類 188	C 要保護生物	コウチュウ目 コメツキムシ科 ルリツヤハダコメツキ
423	昆虫類 189	C 要保護生物	コウチュウ目 コメツキムシ科 カワイヒラアシコメツキ
424	昆虫類 190	C 要保護生物	コウチュウ目 ホタル科 ヘイケボタル
425	昆虫類 191	C 要保護生物	コウチュウ目 ホタル科 クロマダボタル
426	昆虫類 192	C 要保護生物	コウチュウ目 ツチハンミョウ科 ヒメツチハンミョウ
427	昆虫類 193	C 要保護生物	コウチュウ目 ゴミムシダマシ科 クロズハマベゴミムシダマシ
428	昆虫類 194	C 要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ニセノコギリカミキリ
429	昆虫類 195	C 要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ホソカミキリ
430	昆虫類 196	C 要保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 * ベニバナカミキリ
431	昆虫類 197	C 要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 キアシネクイハムシ
432	昆虫類 198	C 要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 フトネクイハムシ
433	昆虫類 199	C 要保護生物	コウチュウ目 ハムシ科 ジュンサイハムシ
434	昆虫類 200	C 要保護生物	コウチュウ目 ヒゲナガゾウムシ科 エゴヒゲナガゾウムシ(ウシズラヒゲナガゾウムシ)
435	昆虫類 201	C 要保護生物	コウチュウ目 ゾウムシ科 * オオアオゾウムシ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
 「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
436	昆虫類 202	D 一般保護生物	コウチュウ目 ハンミョウ科 コハンミョウ
437	昆虫類 203	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 アワカズサオサムシ
438	昆虫類 204	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 ムネアカチビョウタンゴミムシ
439	昆虫類 205	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 ヒョウタンゴミムシ
440	昆虫類 206	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 トネガワナガゴミムシ
441	昆虫類 207	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 コアトワアオゴミムシ
442	昆虫類 208	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 オオキベリアオゴミムシ
443	昆虫類 209	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 オオトクリゴミムシ
444	昆虫類 210	D 一般保護生物	コウチュウ目 オサムシ科 コアオアトクリゴミムシ
445	昆虫類 211	D 一般保護生物	コウチュウ目 クビソゴミムシ科 アオバネソクビゴミムシ
446	昆虫類 212	D 一般保護生物	コウチュウ目 クビソゴミムシ科 コホソクビゴミムシ
447	昆虫類 213	D 一般保護生物	コウチュウ目 ゲンゴロウ科 シマゲンゴロウ
448	昆虫類 214	D 一般保護生物	コウチュウ目 ミズスマシ科 コオナガミズスマシ
449	昆虫類 215	D 一般保護生物	コウチュウ目 ミズスマシ科 コミズスマシ
450	昆虫類 216	D 一般保護生物	コウチュウ目 ガムシ科 コガムシ
451	昆虫類 217	D 一般保護生物	コウチュウ目 シデムシ科 ベッコウヒラタシデムシ
452	昆虫類 218	D 一般保護生物	コウチュウ目 シデムシ科 * オニヒラタシデムシ
453	昆虫類 219	D 一般保護生物	コウチュウ目 ハネカクシ科 オオツノハネカクシ
454	昆虫類 220	D 一般保護生物	コウチュウ目 クワガタムシ科 * ミヤマクワガタ
455	昆虫類 221	D 一般保護生物	コウチュウ目 センチコガネ科 ムネアカセンチコガネ
456	昆虫類 222	D 一般保護生物	コウチュウ目 センチコガネ科 オオセンチコガネ
457	昆虫類 223	D 一般保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 ゴホンダイコクコガネ
458	昆虫類 224	D 一般保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 * トラハナムグリ
459	昆虫類 225	D 一般保護生物	コウチュウ目 コガネムシ科 コカブトムシ
460	昆虫類 226	D 一般保護生物	コウチュウ目 ナガハナノミ科 ヒゲナガハナノミ
461	昆虫類 227	D 一般保護生物	コウチュウ目 タマムシ科 * ヤマトタマムシ
462	昆虫類 228	D 一般保護生物	コウチュウ目 コメツキムシ科 フタモンウバタマコメツキ
463	昆虫類 229	D 一般保護生物	コウチュウ目 ジョウカイモドキ科 イソジョウカイモドキ
464	昆虫類 230	D 一般保護生物	コウチュウ目 オオキノコムシ科 アカモンチビオオキノコムシ(千葉県亜種)
465	昆虫類 231	D 一般保護生物	コウチュウ目 ゴミムシダマシ科 オオモンキゴミムシダマシ
466	昆虫類 232	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 チャイロヒメハナカミキリ
467	昆虫類 233	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 アオシジカミキリ
468	昆虫類 234	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ムネモンアカネトラカミキリ(アマミトラカミキリ)
469	昆虫類 235	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ホシベニカミキリ
470	昆虫類 236	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 セミスジコブヒゲカミキリ
471	昆虫類 237	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 イボタサビカミキリ
472	昆虫類 238	D 一般保護生物	コウチュウ目 カミキリムシ科 ネジロカミキリ
473	昆虫類 239	D 一般保護生物	コウチュウ目 オトシブミ科 イタヤハマキチョッキリ
474	昆虫類 240	D 一般保護生物	コウチュウ目 ゾウムシ科 エゴシギゾウムシ
475	昆虫類 241	A 最重要保護生物	ハチ目 コマユバチ科 シブオナガコマユバチ
476	昆虫類 242	A 最重要保護生物	ハチ目 ベッコウバチ科 ムツボシベッコウ
477	昆虫類 243	A 最重要保護生物	ハチ目 ツチバチ科 * ヤスマツツチバチ
478	昆虫類 244	A 最重要保護生物	ハチ目 ハキリバチ科 フルカワフハキリバチ
479	昆虫類 245	A 最重要保護生物	ハチ目 ミツバチ科 * シロスジコシブトハチ
480	昆虫類 246	A 最重要保護生物	ハチ目 ミツバチ科 * ウスルリモンハチ(ヤマトリモンハチ)
481	昆虫類 247	B 重要保護生物	ハチ目 コンボウハチ科 ヨウロウヒラクチハチ(ヨウロウアシブトハチ)
482	昆虫類 248	B 重要保護生物	ハチ目 セイボウ科 フジセイボウモドキ
483	昆虫類 249	B 重要保護生物	ハチ目 ドロバチ科 * ハグロフタオビドロバチ
484	昆虫類 250	B 重要保護生物	ハチ目 ギングバチ科 * アカオビケラトリバチ
485	昆虫類 251	B 重要保護生物	ハチ目 ギングバチ科 フクイジガバチモドキ
486	昆虫類 252	B 重要保護生物	ハチ目 コハナバチ科 チバヤドリコハナバチ(チバラアカハナバチ)
487	昆虫類 253	B 重要保護生物	ハチ目 ヒメハナバチ科 ヤスマツヒメハチ
488	昆虫類 254	C 要保護生物	ハチ目 ケアシハチ科 * シロスジデアシハチ(シロスジケアシハチ)
489	昆虫類 255	C 要保護生物	ハチ目 キバチ科 ヒゲジロキバチ
490	昆虫類 256	C 要保護生物	ハチ目 ヤドリキバチ科 トサヤドリキバチ
491	昆虫類 257	C 要保護生物	ハチ目 クキバチ科 モンクキバチ
492	昆虫類 258	C 要保護生物	ハチ目 セイボウ科 セイドウマルセイボウ
493	昆虫類 259	C 要保護生物	ハチ目 ベッコウバチ科 スギハラベッコウ
494	昆虫類 260	C 要保護生物	ハチ目 ドロバチ科 キボシトクリバチ
495	昆虫類 261	C 要保護生物	ハチ目 ギングバチ科 コウライクモカリバチ(コウライビソン)
496	昆虫類 262	C 要保護生物	ハチ目 ギングバチ科 * ニッポントゲアナバチ
497	昆虫類 263	C 要保護生物	ハチ目 ドロバチモドキ科 * ハクサンツババチ
498	昆虫類 264	C 要保護生物	ハチ目 ドロバチモドキ科 オオドロバチモドキ
499	昆虫類 265	C 要保護生物	ハチ目 ドロバチモドキ科 * ニッポントゲアワフキバチ
500	昆虫類 266	C 要保護生物	ハチ目 ドロバチモドキ科 キアシハチダカバチモドキ
501	昆虫類 267	C 要保護生物	ハチ目 ミツバチ科 * シロスジムカシハチヤドリ(シロスジヤドリハチ)
502	昆虫類 268	C 要保護生物	ハチ目 ミツバチ科 クロマルハチ

\*は2006年改訂版で変更等があったもの  
\*\*は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
503	昆虫類 269	B 重要保護生物	シリアゲムシ目 シリアゲムシ科 キシタゲシリアゲ
504	昆虫類 270	C 要保護生物	シリアゲムシ目 シリアゲムシ科 ホシシリアゲ
505	昆虫類 271	C 要保護生物	シリアゲムシ目 シリアゲムシ科 ミスジシリアゲ
506	昆虫類 272	C 要保護生物	シリアゲムシ目 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ(ヤマトガガンボモドキ)
507	昆虫類 273	D 一般保護生物	シリアゲムシ目 シリアゲムシ科 ヤマトシリアゲ(シリアゲムシ)
508	昆虫類 274	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 イエバエ科 クロイエバエ
509	昆虫類 275	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 イエバエ科 ミドリイエバエ
510	昆虫類 276	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 イエバエ科 コミドリイエバエ
511	昆虫類 277	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 イエバエ科 ノサシバエ
512	昆虫類 278	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 イエバエ科 ミナミサシバエ
513	昆虫類 279	X 消息不明・絶滅生物	ハエ目 クロバエ科 カエルキンバエ
514	昆虫類 280	A 最重要保護生物	ハエ目 アブ科 イシハラアブ
515	昆虫類 281	A 最重要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 クダマキモドキヤドリニクバエ
516	昆虫類 282	A 最重要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 パッタヤドリニクバエ
517	昆虫類 283	A 最重要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 メツゲルニクバエ
518	昆虫類 284	B 重要保護生物	ハエ目 アブ科 キンイロアブ
519	昆虫類 285	B 重要保護生物	ハエ目 ヒメイエバエ科 ホリヒメイエバエ
520	昆虫類 286	B 重要保護生物	ハエ目 ヒメイエバエ科 シナハマヒメイエバエ
521	昆虫類 287	B 重要保護生物	ハエ目 ヒメイエバエ科 ホホヒゲヒメイエバエ
522	昆虫類 288	B 重要保護生物	ハエ目 イエバエ科 チビトゲアシメマトイ
523	昆虫類 289	B 重要保護生物	ハエ目 イエバエ科 ウムベカトリバエ
524	昆虫類 290	B 重要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 ヒグラシヤチニクバエ
525	昆虫類 291	C 要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 シュツェニクバエ
526	昆虫類 292	C 要保護生物	ハエ目 ニクバエ科 キーガンニクバエ
527	昆虫類 293	D 一般保護生物	ハエ目 クロバエ科 ミドリバエ
528	昆虫類 294	D 一般保護生物	ハエ目 アブ科 * ヨスジキンメアブ(ヨスジメクラアブ)
529	昆虫類 295	D 一般保護生物	ハエ目 アブ科 * シロスネアブ
530	昆虫類 296	D 一般保護生物	ハエ目 アブ科 * ハタケヤマアブ
531	昆虫類 297	A 最重要保護生物	トビケラ目 トビケラ科 ツマグロトビケラ
532	昆虫類 298	A 最重要保護生物	トビケラ目 ヒゲナガトビケラ科 ミサキツトビケラ
533	昆虫類 299	B 重要保護生物	トビケラ目 エグリトビケラ科 エグリトビケラ
534	昆虫類 300	C 要保護生物	トビケラ目 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ
535	昆虫類 301	C 要保護生物	トビケラ目 エグリトビケラ科 トビイロトビケラ
536	昆虫類 302	C 要保護生物	トビケラ目 エグリトビケラ科 ウルマートビイロトビケラ
537	昆虫類 303	C 要保護生物	トビケラ目 エグリトビケラ科 セグロトビケラ
538	昆虫類 304	C 要保護生物	トビケラ目 カクスイトビケラ科 ニセオオハラツツトビケラ
539	昆虫類 305	C 要保護生物	トビケラ目 カタツムリトビケラ科 ** カタツムリトビケラ属の一種
540	昆虫類 306	C 要保護生物	トビケラ目 ツノツツトビケラ科 * ツノツツトビケラ
541	昆虫類 307	D 一般保護生物	トビケラ目 マルバネトビケラ科 マルバネトビケラ
542	昆虫類 308	D 一般保護生物	トビケラ目 カクツツトビケラ科 トウヨウカクツツトビケラ
543	昆虫類 309	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目チョウ類 シロチョウ科 * ツマグロキチョウ
544	昆虫類 310	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 クロシジミ
545	昆虫類 311	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 ウラギンスジヒョウモン
546	昆虫類 312	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 オオウラギンヒョウモン
547	昆虫類 313	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 ヒョウモンモドキ
548	昆虫類 314	A 最重要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 ウラキンシジミ
549	昆虫類 315	A 最重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 オオウラギンスジヒョウモン
550	昆虫類 316	A 最重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 ウラギンヒョウモン
551	昆虫類 317	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 アオバセセリ
552	昆虫類 318	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 ミヤマセセリ
553	昆虫類 319	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 ホソバセセリ
554	昆虫類 320	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 ミヤマチャバネセセリ
555	昆虫類 321	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 * オオチャバネセセリ
556	昆虫類 322	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 コツバメ
557	昆虫類 323	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 * シルビアシジミ
558	昆虫類 324	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 スミナガシ
559	昆虫類 325	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 * アサマイチモンジ
560	昆虫類 326	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 クモガタヒョウモン
561	昆虫類 327	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 ヒオドシチョウ
562	昆虫類 328	B 重要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 オオムラサキ
563	昆虫類 329	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 アゲハチョウ科 オナガアゲハ
564	昆虫類 330	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 ミズイロオナガシジミ
565	昆虫類 331	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 * ウラゴマダラシジミ
566	昆虫類 332	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 * オオミドリシジミ
567	昆虫類 333	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 アカシジミ
568	昆虫類 334	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 ウラナミアカシジミ
569	昆虫類 335	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 ミドリシジミ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
 「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
570	昆虫類 336	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 * ルーミスジミ
571	昆虫類 337	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 コムラサキ
572	昆虫類 338	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 * ミドリヒョウモン
573	昆虫類 339	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 タテハチョウ科 ミスジチョウ
574	昆虫類 340	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 ジャノメチョウ科 ジャノメチョウ
575	昆虫類 341	C 要保護生物	チョウ目チョウ類 ジャノメチョウ科 * ヤマキマダラヒカゲ房総亜種(ボウソウヤマキマダラヒカゲ)
576	昆虫類 342	D 一般保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 ギンイチョモンジセセリ
577	昆虫類 343	D 一般保護生物	チョウ目チョウ類 セセリチョウ科 ヒメキマダラセセリ
578	昆虫類 344	D 一般保護生物	チョウ目チョウ類 シジミチョウ科 トラフシジミ
579	昆虫類 345	D 一般保護生物	チョウ目チョウ類 マダラチョウ科 アサギマダラ
580	昆虫類 346	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目ガ類 ヒトリガ科 マエアカヒトリ
581	昆虫類 347	X 消息不明・絶滅生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ウズミケンモン
582	昆虫類 348	A 最重要保護生物	チョウ目ガ類 スズメガ科 オビグロスズメ
583	昆虫類 349	A 最重要保護生物	チョウ目ガ類 シャチホコガ科 カバイロシャチホコ
584	昆虫類 350	B 重要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 カバイロキヨトウ(ヒトツメキヨトウ)
585	昆虫類 351	B 重要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ツマグロキヨトウ
586	昆虫類 352	B 重要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 * ヤクシマキリガ
587	昆虫類 353	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ホソバオビキリガ
588	昆虫類 354	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 サヌキキリガ
589	昆虫類 355	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ウスミモンキリガ
590	昆虫類 356	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ミスジキリガ
591	昆虫類 357	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 * ガマトウ
592	昆虫類 358	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 * オオチャバネヨトウ
593	昆虫類 359	C 要保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 * イチモジヒメヨトウ
594	昆虫類 360	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ドクガ科 マガリキドクガ
595	昆虫類 361	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ドクガ科 ナチキシタドクガ
596	昆虫類 362	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ドクガ科 ヤクシマドクガ
597	昆虫類 363	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ハマオモトヨトウ
598	昆虫類 364	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 カギモンキリガ
599	昆虫類 365	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 コシロシタバ
600	昆虫類 366	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 オニベニシタバ
601	昆虫類 367	D 一般保護生物	チョウ目ガ類 ヤガ科 ジョナスキシタバ
602	クモ類 1	A 最重要保護生物	カネコタテグモ科 カネコタテグモ
603	クモ類 2	A 最重要保護生物	ジグモ科 ワスレナグモ
604	クモ類 3	A 最重要保護生物	コガネグモ科 コケオニグモ
605	クモ類 4	B 重要保護生物	トタテグモ科 キシノウエトタテグモ
606	クモ類 5	B 重要保護生物	トタテグモ科 キノボリトタテグモ
607	クモ類 6	C 要保護生物	コガネグモ科 コガネグモ
608	クモ類 7	C 要保護生物	アシナガグモ科 キヌアシナガグモ
609	クモ類 8	D 一般保護生物	コガネグモ科 ナカムラオニグモ
610	クモ類 9	D 一般保護生物	コガネグモ科 オニグモ
611	甲殻類 1	X 消息不明・絶滅生物	モクズガニ科 * ハマガニ
612	甲殻類 2	A 最重要保護生物	スナホリムシ科 ヒガタスナホリムシ
613	甲殻類 3	A 最重要保護生物	コツブムシ科 ヒメコツブムシ
614	甲殻類 4	A 最重要保護生物	ヌマエビ科 ミゾレヌマエビ
615	甲殻類 5	A 最重要保護生物	ヌマエビ科 トゲナシヌマエビ
616	甲殻類 6	A 最重要保護生物	ヌマエビ科 * ヒメヌマエビ
617	甲殻類 7	A 最重要保護生物	スナガニ科 アリアケモドキ
618	甲殻類 8	A 最重要保護生物	スナガニ科 ハラグクレチゴガニ
619	甲殻類 9	A 最重要保護生物	ベンケイガニ科 * ウモレベンケイガニ
620	甲殻類 10	B 重要保護生物	フナムシ科 キヨスミチビヒメフナムシ
621	甲殻類 11	B 重要保護生物	ヒメワラジムシ科 ニッポンヒイロワラジムシ
622	甲殻類 12	B 重要保護生物	スナガニ科 オサガニ
623	甲殻類 13	B 重要保護生物	ベンケイガニ科 * ベンケイガニ
624	甲殻類 14	C 要保護生物	ヌマエビ科 ヤマトヌマエビ
625	甲殻類 15	C 要保護生物	ヌマエビ科 ヌマエビ
626	甲殻類 16	C 要保護生物	ヌマエビ科 ヌカエビ
627	甲殻類 17	C 要保護生物	ハサミシャコエビ科 ハサミシャコエビ
628	甲殻類 18	C 要保護生物	サワガニ科 サワガニ
629	甲殻類 19	D 一般保護生物	ウミベワラジムシ科 ニホンハマワラジムシ
630	甲殻類 20	D 一般保護生物	テナガエビ科 スジエビ
631	甲殻類 21	D 一般保護生物	テナガエビ科 テナガエビ
632	甲殻類 22	D 一般保護生物	テナガエビ科 * ミナミテナガエビ
633	甲殻類 23	D 一般保護生物	テナガエビ科 * ヒラテナガエビ
634	甲殻類 24	D 一般保護生物	コブシガニ科 マメコブシガニ
635	甲殻類 25	D 一般保護生物	スナガニ科 ヤマトオサガニ
636	甲殻類 26	D 一般保護生物	スナガニ科 コメツキガニ

\*は2006年改訂版で変更等があったもの  
\*\*は特に留意が必要な種



千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
637	甲殻類 27	D 一般保護生物	スナガニ科 チゴガニ
638	甲殻類 28	D 一般保護生物	モクスガニ科 * モクスガニ
639	甲殻類 29	D 一般保護生物	ベンケイガニ科 * クロベンケイガニ
640	甲殻類 30	D 一般保護生物	ベンケイガニ科 * アカテガニ
641	甲殻類 31	D 一般保護生物	モクスガニ科 * アシハラガニ
642	多足類 1	X 消息不明・絶滅生物	イッスンムカデ科 オオイッスンムカデ
643	多足類 2	X 消息不明・絶滅生物	ツチムカデ科 チョウシシマジムカデ
644	多足類 3	X 消息不明・絶滅生物	ツチムカデ科 ホソツチムカデ
645	多足類 4	A 最重要保護生物	フサヤスデ科 * シノハラフサヤスデ
646	多足類 5	A 最重要保護生物	フサヤスデ科 イソフサヤスデ
647	多足類 6	A 最重要保護生物	フサヤスデ科 * ハイロチビケフサヤスデ
648	多足類 7	A 最重要保護生物	オビヤスデ科 * トワダオビヤスデ
649	多足類 8	A 最重要保護生物	ババヤスデ科 * トラフババヤスデ
650	多足類 9	A 最重要保護生物	ハガヤスデ科 * コバヤスデ
651	多足類 10	A 最重要保護生物	エダヒゲムシ科 * サングホンエダヒゲムシ
652	多足類 11	A 最重要保護生物	エダヒゲムシ科 * イシカワリモロタマエダヒゲムシ
653	多足類 12	A 最重要保護生物	イシムカデ科 キスジイシムカデ
654	多足類 13	A 最重要保護生物	イシムカデ科 * タジマガハラヒトフシムカデ
655	多足類 14	A 最重要保護生物	メナシムカデ科 ケアカムカデ
656	多足類 15	A 最重要保護生物	マツジムカデ科 サキブツジムカデ
657	多足類 16	B 重要保護生物	タマヤスデ科 ヤマトタマヤスデ
658	多足類 17	B 重要保護生物	タマヤスデ科 フリリタマヤスデ
659	多足類 18	B 重要保護生物	ババヤスデ科 * タカクワヤスデ
660	多足類 19	B 重要保護生物	ヒゲヤスデ科 * ヒゲヤスデ
661	多足類 20	B 重要保護生物	ヒラタヤスデ科 * タマモヒラタヤスデ
662	多足類 21	B 重要保護生物	ゲジ科 * ゲジ
663	多足類 22	B 重要保護生物	イシムカデ科 ケズネイシムカデ
664	多足類 23	B 重要保護生物	メナシムカデ科 スジメナシムカデ
665	多足類 24	B 重要保護生物	メナシムカデ科 ニホンメナシムカデ
666	多足類 25	B 重要保護生物	オビジスカデ科 * ヨシヤジムカデ
667	多足類 26	B 重要保護生物	ベニジムカデ科 カチベニジムカデ
668	多足類 27	B 重要保護生物	ナガズジムカデ科 タカシマジムカデ
669	多足類 28	C 要保護生物	ハガヤスデ科 * ヒメヨロイヤスデ
670	多足類 29	C 要保護生物	クロヒメヤスデ科 * クロヒメヤスデ
671	多足類 30	C 要保護生物	イトヤスデ科 * イトヤスデ
672	多足類 31	C 要保護生物	ヒラタヤスデ科 * アカヒラタヤスデ
673	多足類 32	C 要保護生物	イッスンムカデ科 * ヨシイッスンムカデ
674	多足類 33	C 要保護生物	トゲイシムカデ科 ニホントゲイシムカデ
675	多足類 34	C 要保護生物	ベニジムカデ科 * キヨシミベニジムカデ
676	多足類 35	C 要保護生物	ベニジムカデ科 * エリジロベニジムカデ
677	多足類 36	D 一般保護生物	ババヤスデ科 オビババヤスデ
678	貝類 1	X 消息不明・絶滅生物	アマオブネ科 ヒロクチカノコガイ
679	貝類 2	X 消息不明・絶滅生物	ウミナナ科 イボウミナナ
680	貝類 3	X 消息不明・絶滅生物	フトヘナタリ科 クロヘナタリ
681	貝類 4	X 消息不明・絶滅生物	トウガタガイ科 シゲヤスイカケギリ
682	貝類 5	X 消息不明・絶滅生物	イソチドリ科 * イソチドリ
683	貝類 6	X 消息不明・絶滅生物	ウツセミガイ科 * ウツセミガイ
684	貝類 7	X 消息不明・絶滅生物	オカミミガイ科 オカミミガイ
685	貝類 8	X 消息不明・絶滅生物	イタボガキ科 * イタボガキ
686	貝類 9	X 消息不明・絶滅生物	ザルガイ科 * モクハチアオイ
687	貝類 10	X 消息不明・絶滅生物	ブンブクヤドリガイ科 マゴコロガイ
688	貝類 11	X 消息不明・絶滅生物	バカガイ科 ユキガイ
689	貝類 12	X 消息不明・絶滅生物	ニッコウガイ科 イチョウシラトリ
690	貝類 13	X 消息不明・絶滅生物	ニッコウガイ科 * アオサギガイ
691	貝類 14	X 消息不明・絶滅生物	イソシジミ科 オチバガイ
692	貝類 15	X 消息不明・絶滅生物	イソシジミ科 ムラサキガイ
693	貝類 16	X 消息不明・絶滅生物	イソシジミ科 フジナミガイ
694	貝類 17	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 シオヤガイ
695	貝類 18	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 シラオガイ
696	貝類 19	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 ケマンガイ
697	貝類 20	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 イオウハマグリ
698	貝類 21	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 オキアサリ
699	貝類 22	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 ** ハマグリ
700	貝類 23	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 * ウラカガミ
701	貝類 24	X 消息不明・絶滅生物	マルスダレガイ科 * イヨスダレ
702	貝類 25	A 最重要保護生物	ユキスズメガイ科 ミヤコドリ
703	貝類 26	A 最重要保護生物	オニノツノガイ科 カヤノミカニモリ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
704	貝類 27	A 最重要保護生物	オニノツノガイ科 コベルトカニモリ(コオロギ)
705	貝類 28	A 最重要保護生物	フトヘナタリ科 フトヘナタリ
706	貝類 29	A 最重要保護生物	フトヘナタリ科 ヘナタリ
707	貝類 30	A 最重要保護生物	フトヘナタリ科 ** カワアイ
708	貝類 31	A 最重要保護生物	ウミナ科 ウミナ
709	貝類 32	A 最重要保護生物	ウキツボ科 * ウネハマツボ
710	貝類 33	A 最重要保護生物	モツボ科 * シマモツボ
711	貝類 34	A 最重要保護生物	ホソスジジョウジガイ科 * マツシマツボ
712	貝類 35	A 最重要保護生物	カワグチツボ科 * ワカウラツボ
713	貝類 36	A 最重要保護生物	イツマデガイ科 カタヤマガイ
714	貝類 37	A 最重要保護生物	エゾマメタニシ科 * マメタニシ
715	貝類 38	A 最重要保護生物	サザナミツボ科 * サザナミツボ
716	貝類 39	A 最重要保護生物	イソマイマイ科 * イトコシタダミ
717	貝類 40	A 最重要保護生物	イソマイマイ科 * シラギク
718	貝類 41	A 最重要保護生物	イソマイマイ科 * アラウズマキ
719	貝類 42	A 最重要保護生物	イソマイマイ科 * イソマイマイ
720	貝類 43	A 最重要保護生物	ミスゴマツボ科 ミスゴマツボ
721	貝類 44	A 最重要保護生物	タマガイ科 * アダムスタマガイ
722	貝類 45	A 最重要保護生物	センマイドオシ科 * センマイドオシ
723	貝類 46	A 最重要保護生物	ハナゴウナ科 * ヒモイカリナマコツマミガイ
724	貝類 47	A 最重要保護生物	ハナゴウナ科 * ヘソアキゴウナ
725	貝類 48	A 最重要保護生物	フトコロガイ科 * マルテンスマツムシ
726	貝類 49	A 最重要保護生物	フトコロガイ科 * スミスシラゲガイ
727	貝類 50	A 最重要保護生物	テングニシ科 * テングニシ
728	貝類 51	A 最重要保護生物	タケノコガイ科 * イボヒメトクサ
729	貝類 52	A 最重要保護生物	タクミナ科 * タクミナ
730	貝類 53	A 最重要保護生物	イソチドリ科 * マキモノガイ
731	貝類 54	A 最重要保護生物	スイフガイ科 * ツマベネカイコガイダマシ
732	貝類 55	A 最重要保護生物	スイフガイ科 * カミスジカイコガイダマシ
733	貝類 56	A 最重要保護生物	スイフガイ科 * ツララガイ
734	貝類 57	A 最重要保護生物	ヘコミツララガイ科 * トウキョウシリプトカイコガイダマシ
735	貝類 58	A 最重要保護生物	ヘコミツララガイ科 * ヒメコメツブ
736	貝類 59	A 最重要保護生物	オカミガイ科 マクスジコミガイ
737	貝類 60	A 最重要保護生物	オカミガイ科 カシノメガイ
738	貝類 61	A 最重要保護生物	オカミガイ科 スジケシガイ
739	貝類 62	A 最重要保護生物	ヒラマキガイ科 ミスコハクガイ
740	貝類 63	A 最重要保護生物	サナギガイ科 ** ナタネキバサナギガイ
741	貝類 64	A 最重要保護生物	キセルガイ科 スルガギセル
742	貝類 65	A 最重要保護生物	キセルガイ科 ** オクガタギセル
743	貝類 66	A 最重要保護生物	キセルガイ科 ヒメギセル
744	貝類 67	A 最重要保護生物	イガイ科 * ケガイ
745	貝類 68	A 最重要保護生物	イガイ科 * カラスノマクラ
746	貝類 69	A 最重要保護生物	ハボウキガイ科 * タイラギ
747	貝類 70	A 最重要保護生物	イシガイ科 カラスガイ
748	貝類 71	A 最重要保護生物	ツキガイ科 * イセシラガイ
749	貝類 72	A 最重要保護生物	フタバシラガイ科 * シオガマ
750	貝類 73	A 最重要保護生物	フタバシラガイ科 * マンゲツシオガマ
751	貝類 74	A 最重要保護生物	ブンブクヤドリガイ科 * マルヘノジガイ
752	貝類 75	A 最重要保護生物	ウロコガイ科 * オウギウロコガイ
753	貝類 76	A 最重要保護生物	ウロコガイ科 * イソカゼ
754	貝類 77	A 最重要保護生物	ザルガイ科 * チゴトリガイ
755	貝類 78	A 最重要保護生物	バカガイ科 * アリソガイ
756	貝類 79	A 最重要保護生物	バカガイ科 * オオトリガイ
757	貝類 80	A 最重要保護生物	バカガイ科 * カモジガイ
758	貝類 81	A 最重要保護生物	バカガイ科 * ミルクイ
759	貝類 82	A 最重要保護生物	バカガイ科 * ヤチヨノハナガイ
760	貝類 83	A 最重要保護生物	イソハマグリ科 * チドリマスオ
761	貝類 84	A 最重要保護生物	イソハマグリ科 * クチバガイ
762	貝類 85	A 最重要保護生物	マテガイ科 * オオマテ
763	貝類 86	A 最重要保護生物	マテガイ科 * バラフマテ
764	貝類 87	A 最重要保護生物	ユキノアシタ科 * ユキノアシタ
765	貝類 88	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 * ヒラザクラ
766	貝類 89	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 * クモリザクラ
767	貝類 90	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 * アミメザクラ
768	貝類 91	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 ユウシオガイ
769	貝類 92	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 * ハツザクラ
770	貝類 93	A 最重要保護生物	ニッコウガイ科 * アワジチガイ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
771	貝類 94	A 最重要保護生物	アサシガイ科 * ヨセギザクラ
772	貝類 95	A 最重要保護生物	フナガタガイ科 タガソデモドキ
773	貝類 96	A 最重要保護生物	フナガタガイ科 ** ウネナシトマヤガイ
774	貝類 97	A 最重要保護生物	マルスタレガイ科 * ミジンシラオ
775	貝類 98	A 最重要保護生物	マルスタレガイ科 * フスマガイ
776	貝類 99	A 最重要保護生物	イワホリガイ科 * クシケガイ
777	貝類 100	A 最重要保護生物	イワホリガイ科 * チヂミガイ
778	貝類 101	A 最重要保護生物	オオノガイ科 * クシケマスオ
779	貝類 102	A 最重要保護生物	オオノガイ科 * ハマカゼ
780	貝類 103	A 最重要保護生物	ソトオリガイ科 コオキナガイ
781	貝類 104	B 重要保護生物	ユキノカサ科 ツボミ
782	貝類 105	B 重要保護生物	ニシキウズ科 イボキサゴ
783	貝類 106	B 重要保護生物	アマオブネ科 * イシマキ
784	貝類 107	B 重要保護生物	ゴマオカタニシ科 ゴマオカタニシ
785	貝類 108	B 重要保護生物	ヤマタニシ科 サトヤマトガイ
786	貝類 109	B 重要保護生物	ゴマガイ科 イブキゴマガイ
787	貝類 110	B 重要保護生物	カワザンショウガイ科 ヨシダカワザンショウ
788	貝類 111	B 重要保護生物	スイショウガイ科 * フドロ
789	貝類 112	B 重要保護生物	スイショウガイ科 * シドロ
790	貝類 113	B 重要保護生物	ハナゴウナ科 * ハナゴウナ
791	貝類 114	B 重要保護生物	ハナゴウナ科 * シロバリゴウナ
792	貝類 115	B 重要保護生物	アッキガイ科 * カゴメガイ
793	貝類 116	B 重要保護生物	アッキガイ科 オオウヨウラク
794	貝類 117	B 重要保護生物	エソバイ科 * バイ
795	貝類 118	B 重要保護生物	エソバイ科 * ミクリガイ
796	貝類 119	B 重要保護生物	エソバイ科 * トウイト
797	貝類 120	B 重要保護生物	マクラガイ科 * マクラガイ
798	貝類 121	B 重要保護生物	フデガイ科 ヤタテガイ
799	貝類 122	B 重要保護生物	コロモガイ科 * トカシオリイレボラ
800	貝類 123	B 重要保護生物	イモガイ科 * ベニイモ
801	貝類 124	B 重要保護生物	タケノコガイ科 * トクサガイ
802	貝類 125	B 重要保護生物	トウガタガイ科 * クチキレガイ
803	貝類 126	B 重要保護生物	トウガタガイ科 * ミガキクチキレ
804	貝類 127	B 重要保護生物	トウガタガイ科 * ヒメゴウナ
805	貝類 128	B 重要保護生物	キジビキガイ科 ムラクモキジビキガイ
806	貝類 129	B 重要保護生物	スイフガイ科 * コヤスツラガイ
807	貝類 130	B 重要保護生物	ヘコミツラガイ科 * マツシマコムツブガイ
808	貝類 131	B 重要保護生物	キセルガイ科 チュウゼンジゲセル
809	貝類 132	B 重要保護生物	ベッコウマイマイ科 タカキビ
810	貝類 133	B 重要保護生物	ベッコウマイマイ科 * ヒメカサキビ
811	貝類 134	B 重要保護生物	ベッコウマイマイ科 * オオウエキビ
812	貝類 135	B 重要保護生物	ベッコウマイマイ科 ウメムラシタラガイ
813	貝類 136	B 重要保護生物	ベッコウマイマイ科 レンズガイ
814	貝類 137	B 重要保護生物	オナジマイマイ科 カドコオオベソマイマイ
815	貝類 138	B 重要保護生物	キヌタレガイ科 * キヌタレガイ
816	貝類 139	B 重要保護生物	イガイ科 * ヤマホトギス
817	貝類 140	B 重要保護生物	イガイ科 * アケガラス
818	貝類 141	B 重要保護生物	ハボウキガイ科 * ハボウキガイ
819	貝類 142	B 重要保護生物	イシガイ科 マツカサガイ
820	貝類 143	B 重要保護生物	ツキガイ科 * コボレウメ
821	貝類 144	B 重要保護生物	ツキガイ科 * チヂミウメ
822	貝類 145	B 重要保護生物	ニッコウガイ科 * クサビザラ
823	貝類 146	B 重要保護生物	マテガイ科 * ダンダラマテ
824	貝類 147	B 重要保護生物	ユキノアシタ科 * タカノハガイ
825	貝類 148	B 重要保護生物	ニッコウガイ科 * オオモモノハナ
826	貝類 149	B 重要保護生物	ニッコウガイ科 サビシラトリ
827	貝類 150	B 重要保護生物	オオノガイ科 * ヒメマスオ
828	貝類 151	B 重要保護生物	スエモノガイ科 * シナヤカスエモノガイ
829	貝類 152	B 重要保護生物	ソトオリガイ科 オキナガイ
830	貝類 153	C 要保護生物	タマガイ科 * ホウシュノタマ
831	貝類 154	C 要保護生物	オリイレヨフバイ科 ムシロガイ
832	貝類 155	C 要保護生物	タケノコガイ科 * シチクガイ
833	貝類 156	C 要保護生物	ミジンマイマイ科 ** ミジンマイマイ
834	貝類 157	C 要保護生物	サナギガイ科 ** スナガイ
835	貝類 158	C 要保護生物	キセルモドキ科 キセルモドキ
836	貝類 159	C 要保護生物	ベッコウマイマイ科 * コシダカシタラガイ
837	貝類 160	C 要保護生物	オカモノアラガイ科 ナガオカモノアラガイ

「\*」は2006年改訂版で変更等があったもの  
 「\*\*」は特に留意が必要な種

千葉県の上重要な野生生物 - 千葉県レッドリスト - 動物編

無脊椎動物

分類群番号	カテゴリー	目・科名	種名
838	貝類 161	C 要保護生物	ナンバンマイマイ科 * キヌピロードマイマイ
839	貝類 162	C 要保護生物	ナンバンマイマイ科 キヨスミピロードマイマイ
840	貝類 163	C 要保護生物	オナジマイマイ科 トウキョウコオオベソマイマイ
841	貝類 164	C 要保護生物	クビキレガイ科 キュウシュウクビキレガイ
842	貝類 165	C 要保護生物	オカミガイ科 ハマシノミガイ
843	貝類 166	C 要保護生物	オカミガイ科 ナギサノシタリ
844	貝類 167	C 要保護生物	イシガイ科 ヨコハマシジラガイ
845	貝類 168	C 要保護生物	ニッコウガイ科 * ベニガイ
846	貝類 169	C 要保護生物	ニッコウガイ科 * トゲウネガイ
847	貝類 170	C 要保護生物	ニッコウガイ科 * サギガイ
848	貝類 171	C 要保護生物	イソシジミ科 イソシジミ
849	貝類 172	C 要保護生物	フジノハナガイ科 ナミノコガイ
850	貝類 173	C 要保護生物	シジミ科 ヤマトシジミ
851	貝類 174	C 要保護生物	シジミ科 * マシジミ
852	貝類 175	C 要保護生物	ドブシジミ科 ** ニホンマシジミ
853	貝類 176	C 要保護生物	マルスダレガイ科 * ウスハマグリ
854	貝類 177	C 要保護生物	マルスダレガイ科 * ヒナガイ
855	貝類 178	C 要保護生物	マルスダレガイ科 オキシジミ
856	貝類 179	C 要保護生物	イワホリガイ科 * シオツガイ
857	貝類 180	C 要保護生物	ハナグモリ科 ハナグモリ
858	貝類 181	C 要保護生物	コダキガイ科 クチベニガイ
859	貝類 182	C 要保護生物	ソトオリガイ科 ソトオリガイ
860	貝類 183	D 一般保護生物	タニシ科 マルタニシ
861	貝類 184	D 一般保護生物	タマキビ科 * ヘソカドタマキビ
862	貝類 185	D 一般保護生物	カワグチツボ科 カワグチツボ
863	貝類 186	D 一般保護生物	カワザンショウガイ科 ムシヤドリカワザンショウ
864	貝類 187	D 一般保護生物	ミズゴマツボ科 ウミゴマツボ(エドガワミズゴマツボ)
865	貝類 188	D 一般保護生物	オリイレヨフバイ科 キヌボラ
866	貝類 189	D 一般保護生物	エソバイ科 * モスソガイ
867	貝類 190	D 一般保護生物	モノアラガイ科 モノアラガイ
868	貝類 191	D 一般保護生物	ヒラマキガイ科 ヒラマキミズマイマイ
869	貝類 192	D 一般保護生物	ヒラマキガイ科 トウキョウヒラマキガイ
870	貝類 193	D 一般保護生物	キセルガイ科 オオタキコギセル
871	貝類 194	D 一般保護生物	イシガイ科 イシガイ
872	貝類 195	D 一般保護生物	イガイ科 * エソヒバリ
873	貝類 196	D 一般保護生物	ユキノアシタ科 * ミソガイ
874	貝類 197	D 一般保護生物	マルスダレガイ科 * ワスレガイ

\*は2006年改訂版で変更等があったもの  
\*\*は特に留意が必要な種

## 千葉県レッドリスト変更点一覧

本書（2006年3月）に掲載した分類群の種名等は、「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト（動物編）」（2000年3月）の発表時から一部変更されている。以下に、変更点の一覧を示す。

### 哺乳類の変更点

種名	変更内容	2006年 カテゴリ	2000年 カテゴリ	備考
アナグマ	ランク変更	D	C	基準の見直しによる。
カヤネズミ	ランク変更	D	C	基準の見直しによる。
スナメリ	追加	D	-	レッドリスト対象種を海生哺乳類まで拡大。
テン	ランク変更	D	C	基準の見直しによる。
ニホンジカ	削除	-	D	基準の見直しによる。
ハタネズミ	削除	-	D	基準の見直しによる。
ヒナコウモリ	追加	情報不足	-	2003年に鴨川市で1頭が初記録された。
ヒメネズミ	ランク変更	D	C	基準の見直しによる。
ユビナガコウモリ	ランク変更	D	C	調査によって数万規模の越冬集団が確認された。

### 鳥類の変更点

種名	変更内容	2006年 カテゴリ	2000年 カテゴリ	備考
アオアシシギ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
アオサギ	ランク変更	D	C	個体数の増加がみられる。
アオバスク	ランク変更	A	B	個体数や生息地の減少が著しい。
イカルチドリ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
イワヒバリ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ウズラシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
オオジュリン	追加	D	-	個体数や生息地の減少が著しい。
オオソリハシシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
オグロシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
オバシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
カワウ	ランク変更	D	C	繁殖地が増加した。
キアシシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
キセキレイ	ランク変更	B	C	個体数や生息地の減少がみられる。
キョウジョシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
キリアイ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
クサシギ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
クロツグミ	追加	A	-	繁殖期に確認された。
コアシサシ	ランク変更	A	B	繁殖地の減少が著しい。
コサメビタキ	ランク変更	A	B	個体数の減少が著しい。
サシバ	ランク変更	A	B	個体数や生息地の減少がみられた。
シロチドリ	ランク変更	A	B	個体数や生息地の減少が著しい。
スズガモ	追加	D	-	個体数や生息地の減少が著しい。
セイタカシギ	ランク変更	A	B	個体数や繁殖地の減少が著しい。
ソリハシシギ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ダイゼン	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
タカブシギ	追加	B	-	個体数や生息地の減少がみられる。
タゲリ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
チュウジシギ	追加	A	-	個体数や生息地の減少がみられた。
チュウシヤクシギ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
チュウヒ	ランク変更	A	B	個体数や生息地の減少がみられた。
ツバメチドリ	ランク変更	A	B	1995年以降に繁殖記録がなくなった。
ツルシギ	追加	B	-	個体数や生息地の減少がみられる。
トウネン	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ハギマシコ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ハマシギ	追加	B	-	個体数や生息地の減少がみられる。
バン	ランク変更	B	C	個体数や繁殖地の減少がみられる。
ヒメアマツバメ	ランク変更	C	D	繁殖地の減少がみられる。
ピロードキンクロ	ランク変更	C	D	個体数や生息地の減少がみられる。
ホオジロガモ	ランク変更	B	C	個体数が減少した。
マダラウミスズメ	ランク変更	B	D	個体数や生息地の減少がみられる。
ミユビシギ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ムナグロ	追加	D	-	個体数や生息地の減少がみられる。
メダイチドリ	追加	C	-	個体数や生息地の減少がみられる。
ヤイロチョウ	追加	X	-	生息していた状況が確認された。

### 魚類の変更点

種名	変更内容	2006年 カテゴリ	2000年 カテゴリ	備考
ゼニタナゴ	ランク変更	X	B	千葉県資料研究財団(2003)で千葉県個体群絶滅とされた。
チクゼンハゼ	追加	D	-	千葉県資料研究財団(2003)。

### 昆虫類の変更点

種名	変更内容	2006年 カテゴリ	2000年 カテゴリ	備考
アイズクサカワゲラ	削除	-	B	生息記録の誤り。
アイズミドリカワゲラモドキ	削除	-	B	生息記録の誤り。
アオハダトンボ	ランク変更	X	A	20年以上記録がない。

アオマダラタマムシ	追加	C	-	記録が少ない。
アカオビケラトリバチ	ランク変更	B	C	近年の採集状況・他県情報から。
アカハネバツタ	追加	X	-	1950年に採取後、確実な報告がない。
アカヘリサンガメ	ランク変更	B	C	1981年以降記録がない。
アカマダラセンチュウガネ	ランク変更	B	C	記録が少ない。
アカマダラハナムグリ	ランク変更	B	C	アカマダラコガネから変更、記録が少ない、産地局所的。
アサマイチモンジ	ランク変更	B	A	茂原市・白子町などで生息が確認された。
イチモジヒメヨトウ	追加	C	-	生息環境の減少。
イトアメンボ	ランク変更	B	C	
イナゴモドキ	追加	A	-	2003年に白井市で産地が発見された。
イネカメムシ	追加	C	-	2001年に君津市で発見された。
ウシカメムシ	削除	-	D	
ウスルリモンハナバチ	科名変更	A	A	コシブトハナバチ科から変更。
ウラゴマダラシジミ	ランク変更	C	B	木更津市・市原市・我孫子市で新たに生息が確認された。
エサキオサムシ	ランク変更	C	D	他地域と隔離された個体群、分布域が狭い。
オオアオゾウムシ	追加	C	-	中型・目立つ種、記録が少ない。
オオクチブトカメムシ	追加	B	-	新たに発見された。
オオクワガタ	ランク変更	A	B	発見例が少なく局所的。
オオコブスジコガネ	ランク変更	A	C	生息場所が限定的で記録が少ない。
オオチャバナセセリ	追加	B	-	普通種であった本種の激減が顕著。原因不明。
オオチャバナヨトウ	ランク変更	C	X	調査進展により産地拡大。
オオネクイハムシ	ランク変更	A	B	2003年に記録あり。
オオフタホシマダラコガネ	ランク変更	B	D	アカマダラハナムグリへ変更、記録が少ない、産地局所的。
オオミドリシジミ	追加	C	-	生息地の喪失に伴い減少傾向にある。
オサムシモドキ	ランク変更	C	D	記録が少ない。
オニヒラタシデムシ	追加	D	-	草索性、記録が少ない。
カタツムリトビケラ属の一種	追加	C	-	房総丘陵に分布するが、生息地はきわめて限られる。
ガマヨトウ	ランク変更	C	B	調査進展により産地拡大。
ガムシ	ランク変更	C	D	
カワトンボの地域個体群	名称・科名変更	A	A	ヒガシカワトンボの地域個体群(シロハネカワトンボ)から変更。
カワラゴミムシ	ランク変更	C	D	全体的にみて変更。
キイトトンボ	ランク変更	C	D	産地減少が顕著。
キバナアシブトマキバサシガメ	追加	B	-	2002年に我孫子市で初めて発見された。
クロクビナガカメムシ	追加	C	-	近年、市川市で発見された。
クロタマムシ	追加	C	-	記録が少ない。
クロバアカサシガメ	ランク変更	C	D	2002年に君津市で発見された。
クロマメゾウムシ	科名変更	A	A	マメゾウムシ科から変更。
コバンムシ	ランク変更	X	A	1981年以降記録がない。
シルビアシジミ	ランク変更	B	A	南房総内陸部で本種の生息が確認された。
シロスジケアシハナバチ	ランク変更	C	B	
シロスジコシブトハナバチ	科名変更	A	A	コシブトハナバチ科から変更。
シロスジフデアシハナバチ	ランク変更	C	B	
シロスジムカシハナバチヤドリ	追加	C	-	鋸山・船橋市・市川市のみ記録。
シロスジヤドリハナバチ	追加	C	-	鋸山・船橋市・市川市のみ記録。
シロスネアブ	追加	D	-	1993年以降記録がない。
シロバナカワトンボ	名称・科名変更	A	A	カワトンボの地域個体群へ変更。
シロヘリハンミョウ	ランク変更	C	D	磯浜、分布の北東限。
ズイムシハナカメムシ	追加	C	-	1988年以降記録がない。
スズキクサカワゲラ	追加	A	-	生息環境の減少。
ダイコクコガネ	ランク変更	X	A	生息環境の減少。
ツノツトビケラ	追加	C	-	近年、きわめて限られた地点で確認された。
ツマガロキチョウ	ランク変更	X	A	10年以上記録がなく、県内では絶滅したと思われる。
トゲフタオタマムシ	ランク変更	A	B	発見例が少なく局所的。
トホシカメムシ	ランク変更	C	D	1987年に清澄山で採集された以降記録がない。
トラハナムグリ	追加	D	-	初夏に花に飛来、少ない。
ニッポンアワフキバチ	削除・名称変更	C	A	ニッポントゲアワフキバチへ変更。
ニッポントゲアナバチ	ランク変更	C	B	近年の採集状況・他県情報から変更。
ニッポントゲアワフキバチ	名称変更	C	C	ニッポンアワフキバチから変更。
ネプトクワガタ	ランク変更	A	B	発見例が少なく局所的。
ハクサンツヤバチ	ランク変更	C	B	近年の採集状況・他県情報から変更。
ハグロフタオビドロバチ	ランク変更	B	C	近年の採集状況・他県情報から。
ハタケヤマアブ	追加	D	-	1994年以降記録がない。
ハナダカカメムシ	削除	-	D	
ハネナシアメンボ	ランク変更	B	C	
ハマスズ	科名・ランク変更	A	X	コオロギ科から変更。九十九里町と富津市で産地が発見された。
ハラピロトンボ	ランク変更	B	C	産地減少が顕著。
ヒメハルゼミ	ランク変更	C	D	
ヒメボタル	追加	A	-	2004年に再発見。
ヒメマイマイカブリ	ランク変更	C	D	記録が少ない。
ヒメミズカマキリ	ランク変更	B	A	
ヒラタクワガタ	ランク変更	B	C	全体的にみて変更。
フタテンカメムシ	追加	C	-	1992年に富津市で採集された以降記録がない。
ブチヒゲカメムシ	削除	-	D	
ベーツヒラタカミキリ	ランク変更	B	C	記録が少ない。
ベニハハナカミキリ	追加	C	-	県北部に広く生息するが少ない。
ボウソウヤマキマダラヒカゲ	ランク変更	C	B	房総丘陵に広く生息、個体数も少なくない。
ミドリカワゲラモドキ	追加	A	-	生息環境の減少。
ミドリヒョウモン	追加	C	-	普通種であった本種の減少が顕著。原因不明。
ミヤマアカネ	ランク変更	X	A	30年以上記録がない。
ミヤマクワガタ	ランク変更	A	C	下総台地では少ないが、房総丘陵ではやや普通。
モートンイトトンボ	ランク変更	A	B	産地減少が顕著なため。
ヤクシマキリガ	追加	B	-	生息環境の減少。
ヤスマツアメンボ	ランク変更	B	C	
ヤスマツツバチ	追加	A	-	新分布確認(福岡に次ぐ記録)。
ヤマキマダラヒカゲ房総亜種	ランク変更	C	B	房総丘陵に広く生息、個体数も少なくない。
ヤマトアミメカワゲラモドキ	削除	-	D	生息環境は限られるが、個体数は多い模様。

ヤマトシロスジヤドリハナバチ	削除	-	B	確認記録・近縁種との関係から削除。
ヤマトタマムシ	追加	D	-	発生源の太いエノキの減少など、減少している。
ヤマトヒメカワゲラ	削除	-	D	生息環境は限られるが、個体数は多い模様。
ヤマトムカシハナバチヤドリ	削除	-	B	確認記録・近縁種との関係から削除。
ヤマトモンシテムシ	ランク変更	C	D	記録が少ない。
ヤマトルリモンハナバチ	科名変更	A	A	コシブトハナバチ科から変更。
ヨスジキンメアブ	追加	D	-	1971年以降記録がない。
ヨスジメクラアブ	追加	D	-	1971年以降記録がない。
リスアカネ	ランク変更	B	C	産地減少が顕著。
ルーミスジジミ	ランク変更	C	B	房総丘陵に広く生息、個体数も少なくない。

### 甲殻類の変更点

種名	変更内容	2006年 加コリ	2000年 加コリ	備考
アカテガニ	科名変更	D	D	イワガニ科から変更。
アシハラガニ	科名変更	D	D	イワガニ科から変更。
ウモレベンケイガニ	科名変更	A	A	イワガニ科から変更。
クロベンケイガニ	科名変更	D	D	イワガニ科から変更。
ハマガニ	科名変更	X	X	イワガニ科から変更。
ヒメヌマエビ	追加	A	-	新たに発見された。
ヒラテテナガエビ	追加	D	-	新たに発見された。
ベンケイガニ	科名・ランク変更	B	C	生息地の破壊・イワガニ科から変更。
ミナミテナガエビ	追加	D	-	新たに発見された。
モクスガニ	科名変更	D	D	イワガニ科から変更。

### 多足類の変更点

種名	変更内容	2006年 加コリ	2000年 加コリ	備考
アカヒラタヤスデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
イシイカワリモロタマエダヒゲムシ	追加	A	-	産地の生息環境が改変されれば絶滅する危険性が高い。
イトヤスデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
エリジロベニジムカデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
キヨスミベニジムカデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
クロヒメヤスデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
ゲジ	追加	B	-	生息環境の改変で著しく個体数を減らす可能性がある。
コブヤスデ	追加	A	-	生息環境の改変が著しい。
サンゴホンエダヒゲムシ	追加	A	-	産地の生息環境が改変されれば絶滅する危険性が高い。
シノハラフサヤスデ	ランク変更	A	X	生息環境の改変危機で絶滅する可能性がある。
タカクワヤスデ	ランク変更	B	D	生息環境の改変で著しく個体数を減らす可能性がある。
タジマガハラヒトフシムカデ	追加	A	-	生息環境の改変の危機で絶滅する可能性がある。
タマモヒラタヤスデ	ランク変更	B	A	生息環境の改変で著しく個体数を減らす可能性がある。
トラフバヤスデ	ランク変更	A	B	1984年以降に記録がない。
トワダオビヤスデ	ランク変更	A	C	生息環境の改変危機で絶滅する可能性がある。
ハイイロチビケフサヤスデ	名称訂正・ランク変更	A	X	県内に散在的に生息を確認、ハイイロフサヤスデから変更。
ヒゲヤスデ	ランク変更	B	X	生息環境の改変で著しく個体数を減らす可能性がある。
ヒメヨロイヤスデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
ヨシイッスンムカデ	ランク変更	C	B	生息環境の改変の影響で個体数を減らす可能性がある。
ヨシヤジムカデ	ランク変更	B	C	個体数が少ない。

### 貝類の変更点

種名	変更内容	2006年 加コリ	2000年 加コリ	備考
アオサギガイ	追加	X	-	潮下帯種。
アケガラス	追加	B	-	潮下帯種。
アダムスタマガイ	追加	A	-	潮下帯種。
アミメザクラ	追加	A	-	潮下帯種。
アラウズマキ	追加	A	-	潮下帯種。
アリソガイ	追加	A	-	潮下帯種。
アワジチガイ	追加	A	-	潮下帯種。
イシマキ	ランク変更	B	A	新たな生息地を確認した。
イセシラガイ	追加	A	-	潮下帯種。
イソカゼ	追加	A	-	潮下帯種。
イソチドリ	追加	X	-	潮下帯種。
イソマイマイ	追加	A	-	潮下帯種。
イタボガキ	追加	X	-	潮下帯種。
イトコシタダミ	追加	A	-	潮下帯種。
イボヒメトクサ	追加	A	-	潮下帯種。
イヨスタレ	追加	X	-	潮下帯種。
ウスハマグリ	追加	C	-	潮下帯種。
ウツセミガイ	追加	X	-	潮下帯種。
ウネナシトマヤガイ	ランク変更	A	B	東京湾奥部のものは移入群の可能性が高いため。
ウネハマツボ	追加	A	-	潮下帯種。
ウラカガミ	追加	X	-	潮下帯種。
エゾヒバリ	追加	D	-	潮下帯種。
オウギウロコガイ	追加	A	-	潮下帯種。
オオウエキビ	ランク変更	B	C	新たな記録がなく、周辺県でも確認地点が極めて少ない。
オオトリガイ	追加	A	-	潮下帯種。
オオマテ	追加	A	-	潮下帯種。
オオモモノハナ	追加	B	-	潮下帯種。
カゴメガイ	追加	B	-	潮下帯種。
カミスジカイコガイダマシ	追加	A	-	潮下帯種。
カモジガイ	追加	A	-	潮下帯種。

カラスノマクラ	追加	A	-	潮下帯種.
キヌタレガイ	追加	B	-	潮下帯種.
キヌビロードマイマイ	名称変更	C	C	カントウビロードマイマイから変更.
クサビザラ	追加	B	-	潮下帯種.
クシケガイ	追加	A	-	潮下帯種.
クシケマスオ	追加	A	-	潮下帯種.
クチキレガイ	追加	B	-	潮下帯種.
クチバガイ	科名変更	A	A	チドリマスオ科から変更.
クモリザクラ	追加	A	-	潮下帯種.
ケガイ	追加	A	-	潮下帯種.
コシダカシタラガイ	ランク変更	C	B	新たな生息地を確認した.
コボレウメ	追加	B	-	潮下帯種.
コヤスツラガイ	科名変更	B	B	クダタマガイ科から変更.
サギガイ	追加	C	-	潮下帯種.
サザナミツボ	追加	A	-	潮下帯種.
シオガマ	追加	A	-	潮下帯種.
シオツガイ	追加	C	-	潮下帯種.
シチクガイ	追加	C	-	潮下帯種.
シドロ	追加	B	-	潮下帯種.
シナヤカスエモノガイ	追加	B	-	潮下帯種.
シマモツボ	追加	A	-	潮下帯種.
シラギク	科名変更	A	A	イソコハクガイ科から変更.
シロバリゴウナ	追加	B	-	潮下帯種.
スミスシラゲガイ	追加	A	-	潮下帯種.
センマイドオシ	追加	A	-	潮下帯種.
タイラギ	追加	A	-	潮下帯種.
タカノハガイ	追加	B	-	潮下帯種.
タクミナ	追加	A	-	潮下帯種.
ダンダラマテ	追加	B	-	潮下帯種.
チゴトリガイ	追加	A	-	潮下帯種.
チヂミウメ	追加	B	-	潮下帯種.
チヂミガイ	追加	A	-	潮下帯種.
チドリマスオ	科名変更	A	A	チドリマスオ科から変更.
ツマベニカイコガイダマシ	追加	A	-	潮下帯種.
ツララガイ	追加	A	-	潮下帯種.
テングニシ	追加	A	-	潮下帯種.
トウイト	追加	B	-	潮下帯種.
トウキョウシリブトカイコガイダマシ	追加	A	-	潮下帯種.
トカシオリイレボラ	追加	B	-	潮下帯種.
トクサガイ	追加	B	-	潮下帯種.
トゲウネガイ	追加	C	-	潮下帯種.
ニホンマメシジミ	科名変更	C	C	マメシジミ科から変更.
バイ	追加	B	-	潮下帯種.
ハツザクラ	追加	A	-	潮下帯種.
ハナゴウナ	追加	B	-	潮下帯種.
ハボウキガイ	追加	B	-	潮下帯種.
ハマカゼ	追加	A	-	潮下帯種.
バラフマテ	追加	A	-	潮下帯種.
ヒナガイ	追加	C	-	潮下帯種.
ヒメカサキビ	ランク変更	B	C	新たな記録がなく,周辺県でも確認地点が極めて少ない.
ヒメゴウナ	追加	B	-	潮下帯種.
ヒメコメツブ	追加	A	-	潮下帯種.
ヒメマスオ	追加	B	-	潮下帯種.
ヒモイカリナマコツマミガイ	追加	A	-	潮下帯種.
ヒラザクラ	追加	A	-	潮下帯種.
フスマガイ	追加	A	-	潮下帯種.
フドロ	追加	B	-	潮下帯種.
ヘソアキゴウナ	追加	A	-	潮下帯種.
ヘソカドタマキビ	追加	D	-	潮下帯種.
ベニイモ	追加	B	-	潮下帯種.
ベニガイ	追加	C	-	潮下帯種.
ハウシュノタマ	追加	C	-	潮下帯種.
マキモノガイ	追加	A	-	潮下帯種.
マクラガイ	追加	B	-	潮下帯種.
マシジミ	追加	C	-	近似外来種の分布拡大.
マツシマコメツブガイ	科名変更	B	B	クダタマガイ科から変更.
マツシマツボ	追加	A	-	潮下帯種.
マメタニシ	科名変更	A	A	マメタニシ科から変更.
マルテンスマツムシ	追加	A	-	潮下帯種.
マルヘノジガイ	追加	A	-	潮下帯種.
マンゲツシオガマ	追加	A	-	潮下帯種.
ミガキクチキレ	追加	B	-	潮下帯種.
ミクリガイ	追加	B	-	潮下帯種.
ミジンシラオ	追加	A	-	潮下帯種.
ミゾガイ	追加	D	-	潮下帯種.
ミルクイ	追加	A	-	潮下帯種.
モクハチアオイ	追加	X	-	潮下帯種.
モスソガイ	追加	D	-	潮下帯種.
ヤチヨノハナガイ	追加	A	-	潮下帯種.
ヤマホトトギス	追加	B	-	潮下帯種.
ユキノアシタ	追加	A	-	潮下帯種.
ヨセギザクラ	追加	A	-	潮下帯種.
ワカウラツボ	追加	A	-	潮下帯種.
ワスレガイ	追加	D	-	潮下帯種.



## 特に留意が必要な種

本書（2006年3月）に掲載した種のうち、特に留意が必要な種について内容を示す。

動物番号	分類番号	種名	2006年 カテゴリ	留意点
12	哺乳類 12	ニホンザル	D	生息数(4000~5000頭程度)に基づけばレッドリスト外に相当するが、外来種アカゲザルとの交雑が生じているためカテゴリDに相当。
18	哺乳類 18	ヒナコウモリ	情報不足	ヒナコウモリは、これまで県内で1頭の記録しか報告されていないため、本種のカテゴリは「情報不足」とした。
225	魚類 13	アブラハヤ	C	千葉県資料研究財団(2003)において「生息数が極めて少ない」とされたが、本来生息数が少なく、生息環境は比較的残っている。
539	昆虫類 305	カタツムリトビケラ属の一種	C	分類学的検討がなされた場合、種名の変更があり得る。
699	貝類 22	ハマグリ	X	移入群と考えられるものが木更津市で得られている。
707	貝類 30	カワアイ	A	市川市新浜で移入か回復かの判断の難しい個体群が確認されている。
740	貝類 63	ナタネキバサナギガイ	A	同定は暫定的。
742	貝類 65	オクガタギセル	A	今後、種小名に変更の可能性。
773	貝類 96	ウネナシトマヤガイ	A	東京湾奥部のものは移入群の可能性が高いため。
833	貝類 156	ミジンマイマイ	C	攪乱の大きな造成地等へ持ち込まれていることもある。
834	貝類 157	スナガイ	C	攪乱の大きな造成地等へ持ち込まれていることもある。
852	貝類 175	ニホンマメシジミ	C	同定は暫定的。

索引 動物編

種名	カテゴリー	分類群番号	変更等
アイヌハンミョウ	B	昆虫類 144	
アオアシシギ	D	鳥類 154	*
アオイトトンボ	C	昆虫類 42	
アオギス	X	魚類 1	
アオゲラ	C	鳥類 129	
アオサギ	D	鳥類 146	*
アオサギガイ	X	貝類 13	*
アオサナエ	B	昆虫類 31	
アオシギ	X	鳥類 11	
アオスジカミキリ	D	昆虫類 233	
アオダイショウ	D	爬虫類 10	
アオタマムシ	B	昆虫類 153	
アオバズク	A	鳥類 49	*
アオバセセリ	B	昆虫類 317	
アオハダトンボ	X	昆虫類 5	*
アオバト	B	鳥類 80	
アオバナホソクビゴミムシ	D	昆虫類 211	
アオマダラタマムシ	C	昆虫類 187	*
アオヤンマ	B	昆虫類 35	
アカアシオオアオカミキリ	B	昆虫類 158	
アカアシシギ	D	鳥類 153	
アカアシミツユビカモメ	A	鳥類 46	
アカウミガメ	A	爬虫類 2	
アカオビケラトリバチ	B	昆虫類 250	*
アカガネオサムシ	B	昆虫類 145	
アカゲラ	C	鳥類 130	
アカコッコ	C	鳥類 134	
アカシジミ	C	昆虫類 333	
アカツキシロカゲロウ	D	昆虫類 3	
アカテガニ	D	甲殻類 30	*
アカハジロ	A	鳥類 23	
アカハネバツタ	X	昆虫類 58	*
アカハライモリ	A	両生類 1	
アカヒラタヤスデ	C	多足類 31	*
アカヒレタビラ	C	魚類 12	
アカヘリサシガメ	B	昆虫類 92	*
アカマダラセンチコガネ	B	昆虫類 150	*
アカマダラハナムグリ	B	昆虫類 151	*
アカモズ	X	昆虫類 230	
アカモンチビオキノコ(千葉県産種)	D	昆虫類 140	
アケガラス	B	貝類 230	*
アサカミキリ	A	昆虫類 138	
アサギマダラ	D	昆虫類 345	
アサマイチモンジ	B	昆虫類 325	*
アシカ	X	哺乳類 3	
アジサシ	C	鳥類 119	
アジハラガニ	D	甲殻類 31	*
アズキヘリカメムシ	C	昆虫類 100	
アズマヒキガエル	C	両生類 10	
アダチアカサシガメ	A	昆虫類 84	*
アダムスタマガイ	A	貝類 44	*
アナグマ	D	哺乳類 16	**
アブラハヤ	C	魚類 13	**
アマツバメ	A	鳥類 51	
アマミトラカミキリ	D	昆虫類 234	
アミメザクラ	A	貝類 90	*
アラウズマキ	A	貝類 41	*
アリアケモドキ	A	甲殻類 7	
アリソガイ	A	貝類 78	*
アワカズサオサムシ	D	昆虫類 203	
アワジチガイ	A	貝類 93	*
イオウハマグリ	X	貝類 20	
イカル	D	鳥類 169	
イカルチドリ	D	鳥類 107	*
イシイカワリモロタマエダヒゲムシ	A	多足類 11	*
イシガイ	D	貝類 194	
イシハラアブ	A	昆虫類 280	
イシマキ	B	貝類 106	*
イスマナガゴミムシ	A	昆虫類 128	
イセシラガイ	A	貝類 71	*
イソカゼ	A	貝類 76	*
イソカナタタキ	D	昆虫類 79	
イソシギ	B	鳥類 77	
イソシジミ	C	貝類 171	
イソジョウウカイモドキ	D	昆虫類 229	
イソチドリ	X	鳥類 5	*
イソヒヨドリ	C	鳥類 133	
イソフサヤスデ	A	多足類 5	*
イソマイマイ	A	貝類 42	*
イタボガキ	X	貝類 8	*
イタヤハマキチョッキリ	D	昆虫類 239	
イチモジヒメヨトウ	C	昆虫類 359	*
イチヨウシラトリ	X	貝類 12	
イトアメンボ	B	昆虫類 86	*
イトコシタダミ	A	貝類 39	*
イトヤスデ	C	多足類 30	*
イナゴモドキ	A	昆虫類 67	*
イネカメムシ	C	昆虫類 106	*
イブキゴマガイ	B	貝類 109	
イボウミニナ	X	貝類 2	
イボキサゴ	B	貝類 105	
イボタサビカミキリ	D	昆虫類 237	
イボヒメトクサ	A	貝類 51	*
イヨスダレ	X	貝類 24	*
イワツバメ	D	鳥類 159	
イワヒバリ	C	鳥類 132	*
ウキクサミズゾウムシ	B	昆虫類 162	
ウグイス	D	鳥類 163	
ウシズラヒゲナガゾウムシ	C	昆虫類 200	
ウスグロタマノミハムシ	A	昆虫類 141	
ウスズミゲンモン	X	昆虫類 347	

種名	カテゴリー	分類群番号	変更等
ウスハマグリ	C	貝類 176	*
ウスミミモンキリガ	C	昆虫類 355	
ウスラ	A	鳥類 26	
ウスラシギ	C	鳥類 113	*
ウスルリモンハナバチ	A	昆虫類 246	*
ウチワヤンマ	D	昆虫類 49	
ウツセミガイ	X	貝類 6	**
ウネナシトマヤガイ	A	貝類 96	**
ウネハマツボ	A	貝類 32	
ウミアイサ	D	鳥類 150	
ウミウ	B	鳥類 57	
ウミゴマツボ	D	鳥類 187	
ウミスズメ	B	鳥類 79	
ウミニナ	A	貝類 31	
ウミベカトリバエ	B	昆虫類 289	
ウメムラシタラガイ	B	貝類 135	
ウメレベンケイガニ	A	甲殻類 9	*
ウラカガミ	X	貝類 23	*
ウラキンシジミ	A	昆虫類 314	
ウラキンズシヒョウモン	X	昆虫類 311	
ウラキンヒョウモン	A	昆虫類 316	
ウラゴマダラシジミ	C	昆虫類 331	*
ウラナミアカシジミ	C	昆虫類 334	
ウルマートビロトビケラ	C	昆虫類 302	
エグリトビケラ	B	昆虫類 299	
エゴシギゾウムシ	D	昆虫類 240	
エゴヒゲナガゾウムシ	C	昆虫類 200	
エサキアメンボ	B	昆虫類 89	
エサキオサムシ	C	昆虫類 166	*
エソトンボ	A	昆虫類 23	
エソヒバリ	D	貝類 195	*
エドガワミズゴマツボ	D	貝類 187	
エドハゼ	D	魚類 20	
エナガ	C	鳥類 137	
エリジロベニジムカデ	C	多足類 35	*
オウギウロコガイ	A	貝類 75	*
オオアオゾウムシ	C	昆虫類 201	*
オオアメンボ	D	昆虫類 111	
オオイチモンジシマゲンゴロウ	A	昆虫類 131	
オオイッスンムカデ	X	多足類 1	
オオイトトンボ	D	昆虫類 47	
オオウエキビ	B	貝類 134	*
オオウヨウラク	B	貝類 116	
オオウラギンズシヒョウモン	A	昆虫類 315	
オオウラギンヒョウモン	X	昆虫類 312	
オオオカメコオロギ	A	昆虫類 60	
オオキトンボ	X	昆虫類 8	
オオキバナガミズギワゴミムシ	A	昆虫類 123	
オオキベリアオゴミムシ	D	昆虫類 208	
オオキンカメムシ	C	昆虫類 104	
オオクサキリ	A	昆虫類 65	
オオクチブトカメムシ	B	昆虫類 93	*
オオクワガタ	A	昆虫類 133	*
オオゴキブリ	D	昆虫類 57	
オオコノハズク	B	鳥類 82	
オオコブスジコガネ	B	昆虫類 149	*
オオジシギ	A	鳥類 41	
オオジュリン	D	鳥類 168	*
オオセズジイトトンボ	A	昆虫類 10	
オオセツカ	A	鳥類 53	
オオセンチコガネ	D	昆虫類 222	
オオソリハシシギ	C	鳥類 118	
オオタカ	B	鳥類 66	
オオタキコギセル	D	貝類 193	
オオチャバナセセリ	B	昆虫類 321	*
オオチャバナヨトウ	C	昆虫類 358	*
オオツノハネカクシ	D	昆虫類 219	
オオトックリゴミムシ	D	昆虫類 209	
オオトラカミキリ	A	昆虫類 136	
オオトリガイ	A	貝類 79	*
オオドロバチモドキ	C	昆虫類 264	
オオネクイハムシ	A	昆虫類 140	*
オオバン	C	鳥類 106	
オオフタホシマゲソコガネ	B	昆虫類 152	*
オオマテ	A	貝類 85	*
オオマルクビゴミムシ	B	昆虫類 147	
オオミズスマシ	C	昆虫類 175	
オオミドリシジミ	C	昆虫類 332	*
オオムラサキ	B	昆虫類 328	
オオモノサシトンボ	A	昆虫類 14	
オオモモノハナ	B	貝類 148	*
オオモンキゴミムシダマシ	D	昆虫類 231	
オオヨシキリ	D	鳥類 165	
オオヨシゴイ	X	鳥類 1	
オオルリ	B	鳥類 88	
オオルリハムシ	B	昆虫類 161	
オオワシ	C	鳥類 98	
オカミミガイ	X	貝類 7	
オカヨシガモ	C	鳥類 94	
オキアサリ	X	貝類 21	
オキシジミ	C	貝類 178	
オキナガイ	B	貝類 152	
オクガタギセル	A	貝類 65	*
オグロシギ	C	鳥類 117	**
オサガニ	B	甲殻類 12	
オサムシモドキ	C	昆虫類 169	*
オシドリ	B	鳥類 60	
オジロサナエ	A	昆虫類 18	
オジロウシ	C	鳥類 97	
オチバガイ	X	貝類 14	
オツネトンボ	A	昆虫類 15	

種名	カゴリ	分類群番号	変更等
オナガアゲハ	C	昆虫類 329	
オナガサナエ	B	昆虫類 32	
オニグモ	D	クモ類 9	
オニヒラタシデムシ	D	昆虫類 218	*
オニベニシタバ	D	昆虫類 366	
オバシギ	C	鳥類 114	*
オビグロスズメ	A	昆虫類 348	
オビババヤスデ	D	昆虫類 36	
カイツブリ	C	鳥類 89	
カエルキンバエ	X	昆虫類 279	
ガガンボモドキ	C	昆虫類 272	
カギモンキリガ	D	昆虫類 364	
カケス	C	鳥類 143	
カゴメガイ	B	貝類 115	*
カジカガエル	B	両生類 4	
カシノメガイ	A	貝類 60	
カジムラヒメナゴミムシ	A	昆虫類 171	
カズサヒラタゴミムシ	C	昆虫類 173	
カスミササキリ	A	昆虫類 64	
カタツムリトビケラ属の一種	A	昆虫類 305	**
カタヤマガイ	A	貝類 36	
カチベニジムカデ	B	多足類 26	
カッコウ	C	鳥類 123	
カドコオオベソマイマイ	B	貝類 137	
カトリヤンマ	B	昆虫類 36	
カナダツル	C	鳥類 104	
カネコトタテグモ	A	クモ類 1	
カバイロキヨトウ	B	昆虫類 350	
カバイロシヤチホコ	A	昆虫類 349	
ガマヨトウ	C	昆虫類 357	*
ガミスジカイコガイダマシ	A	貝類 55	*
ガムシ	C	昆虫類 178	*
カモジガイ	A	貝類 80	*
カヤクグリ	D	鳥類 161	
カヤコオロギ	A	昆虫類 63	
カヤネズミ	D	哺乳類 13	*
カヤノミカニモリ	A	貝類 26	
カラシラサギ	A	鳥類 21	
カラスガイ	A	貝類 70	
カラスノマクラ	A	貝類 68	*
カラスバト	X	鳥類 13	
カラフトアオアシシギ	A	鳥類 36	
カリガネ	X	鳥類 6	
カワアイ	A	貝類 30	**
カワイヒラアシコメツキ	C	昆虫類 189	
カワウ	D	鳥類 145	*
カワグチツボ	D	貝類 185	
カワセミ	C	鳥類 127	
カワトンボの地域個体群	A	昆虫類 16	*
カワラゴミムシ	A	昆虫類 164	*
カワラハンミョウ	C	昆虫類 119	
カンムリウミスズメ	A	鳥類 48	
カンムリカイツブリ	D	鳥類 144	
キアシシギ	C	鳥類 115	*
キアシネクイハムシ	C	昆虫類 197	
キアシハナダカバチモドキ	C	昆虫類 266	
キーガンニクバエ	C	昆虫類 292	
キイトトンボ	C	昆虫類 40	*
キイロサナエ	B	昆虫類 29	
キイロネクイハムシ	X	昆虫類 117	
キイロホソゴミムシ	A	昆虫類 127	
キイロヤマトンボ	A	昆虫類 21	
キクガシラコウモリ	C	哺乳類 6	
キシタトゲシリアゲ	B	昆虫類 269	
キシノウエトタテグモ	B	クモ類 4	
クスジイシムカデ	A	多足類 12	
キセキレイ	B	鳥類 86	
キセルモドキ	C	貝類 158	
キツネ	B	哺乳類 5	
キトンボ	A	昆虫類 25	
キヌアシナガグモ	C	クモ類 7	
キヌタレガイ	B	貝類 138	*
キヌピロードマイマイ	C	貝類 161	*
キヌボラ	D	貝類 188	
キノボリトタテグモ	B	クモ類 5	
ギバチ	B	魚類 7	
キバナガミズギワゴミムシ	C	昆虫類 170	
キバナアシブトマキバサシガメ	B	昆虫類 91	*
キバナキバナガミズギワゴミムシ	A	昆虫類 122	
キビタキ	B	鳥類 87	
キベリマルクビゴミムシ	C	昆虫類 168	
キボシトックリバチ	C	昆虫類 260	
キュウシュウクチブカメムシ	A	昆虫類 85	
キュウシュウクビキレガイ	C	貝類 164	
キョウジョシギ	C	鳥類 111	*
キョウトクコミズギワゴミムシ	A	昆虫類 124	
キヨスミチビヒメフナムシ	B	甲殻類 10	
キヨスミナガレトビケラ	C	昆虫類 300	
キヨスミピロードマイマイ	C	貝類 162	
キヨスミベニジムカデ	C	多足類 34	*
キリアイ	B	鳥類 74	*
ギンイチモンジセセリ	D	昆虫類 342	
キンイロアブ	B	昆虫類 284	
キンブナ	C	魚類 9	
クイナ	A	鳥類 27	
クサガメ	C	爬虫類 8	
クサシギ	D	鳥類 155	*
クサビザラ	B	貝類 145	*
クシケガイ	A	貝類 99	*
クシケマスオ	A	貝類 101	*
クダマキモドキヤドリニクバエ	A	昆虫類 281	
クチキクシヒゲムシ	C	昆虫類 182	

種名	カゴリ	分類群番号	変更等
クチキコオロギ	D	昆虫類 77	
クチキレガイ	B	貝類 125	*
クチバガイ	A	貝類 84	*
クチベニガイ	C	貝類 181	
クツムシ	C	昆虫類 74	
クマガイクロアオゴミムシ	A	昆虫類 126	
クモガタヒョウモン	B	昆虫類 326	
クモリザクラ	A	貝類 89	*
クロイエバエ	X	昆虫類 274	
クロカタビロオサムシ	A	昆虫類 120	
クログモ	D	鳥類 148	
クログビナガカメムシ	C	昆虫類 95	*
クロスギ	C	鳥類 93	
クロジ	D	鳥類 167	
クロシジミ	X	昆虫類 310	
クロスジギンヤンマ	D	昆虫類 50	
クロスハマゴミムシダマシ	C	昆虫類 193	
クロタマムシ	C	昆虫類 186	*
クロツグミ	A	鳥類 62	*
クロツヤコオロギ	A	昆虫類 51	
クロツラヘラサギ	A	鳥類 22	
クロツル	C	鳥類 102	
クロトキ	X	鳥類 4	
クロバアカサシガメ	C	昆虫類 99	*
クロヒゲカミムラカワゲラ	D	昆虫類 56	
クロヒゲカワゲラ	D	昆虫類 56	
クロヒメヤスデ	C	多足類 29	*
クロヘナタリ	X	貝類 3	
クロベンケイガニ	D	甲殻類 29	*
クロホシチビヒゲナガゾウムシ	B	昆虫類 159	
クロマダラタマムシ	B	昆虫類 154	
クロマトボタル	C	昆虫類 191	
クロマメゾウムシ	A	昆虫類 139	*
クロマルハナバチ	C	昆虫類 268	
ケアカムカデ	A	多足類 14	
ケイマフリ	A	鳥類 47	
ケガイ	A	貝類 67	*
ケジ	B	多足類 21	*
ケシウミアメンボ	C	昆虫類 96	
ケズネイシムカデ	B	多足類 22	
ケフカホソコバネナガカメムシ	D	昆虫類 114	
ケマンガイ	X	貝類 19	
ケリ	A	鳥類 33	
ゲンゴロウ	X	昆虫類 115	
ゲンジボタル	B	昆虫類 155	
コアオアトクリゴミムシ	D	昆虫類 210	
コアジサシ	A	鳥類 45	*
コアトワアオゴミムシ	D	昆虫類 207	
コウノトリ	X	鳥類 2	
コウライクモカリバチ	C	昆虫類 261	
コウライヒソク	C	昆虫類 261	
コオキナガイ	A	貝類 103	
コオナガミズマシ	D	昆虫類 214	
コオロギ	A	貝類 27	
コガシラコバネナガカメムシ	D	昆虫類 114	
コガタコオロギ	B	昆虫類 69	
コガタノゲンゴロウ	A	昆虫類 129	
コガネグモ	C	クモ類 6	
コカブトムシ	D	昆虫類 225	
コガムシ	D	昆虫類 216	
コククガシラコウモリ	C	哺乳類 7	
コクガン	B	鳥類 59	
コケオニグモ	A	クモ類 3	
コサギ	C	鳥類 92	
コサナエ	B	昆虫類 33	
コサメビタキ	A	鳥類 54	*
コシアカツバメ	B	鳥類 85	
コシギ	X	鳥類 12	
コシダカシタラガイ	C	貝類 159	*
コシボソヤンマ	C	昆虫類 45	
コジュリン	A	鳥類 56	
コシロシタバ	D	昆虫類 365	
コチドリ	B	鳥類 71	
コツバメ	B	昆虫類 322	
コノシメトンボ	D	昆虫類 54	
コバナアオイトトンボ	X	昆虫類 4	
コハラアカモリヒラタゴミムシ	C	昆虫類 172	
コハンミョウ	D	昆虫類 202	
コハンミョウモドキ	A	昆虫類 121	
コハンムシ	X	昆虫類 81	*
コバヤスデ	A	多足類 9	*
コベルトカニモリ	A	貝類 27	
コボソクビゴミムシ	D	昆虫類 212	
コボレウメ	B	貝類 143	*
ゴホンダイコクコガネ	D	昆虫類 223	
ゴマオカタニシ	B	貝類 107	
ゴマスズマシ	D	昆虫類 215	
ゴミドリイエバエ	X	昆虫類 276	
ゴミズク	B	鳥類 81	
コムラサキ	C	昆虫類 337	
コメツキガニ	D	甲殻類 26	
コヤスツラガイ	B	貝類 129	*
コヨシキリ	D	鳥類 164	
サカツラガン	X	鳥類 9	
サギガイ	C	貝類 170	*
サキフトジムカデ	A	多足類 15	
サザナミツボ	A	貝類 38	*
サンハ	A	鳥類 24	*
サトキハダヒラタカゲロウ	A	昆虫類 2	
サドヤマトガイ	B	貝類 108	
サヌキキリガ	C	昆虫類 354	
サビシラトリ	B	貝類 149	

種名	カテゴリー	分類群番号	変更等
サラサヤンマ	D	昆虫類 51	
サウガニ	A	甲殻類 18	
サンカノゴイ	A	鳥類 18	
サンコウチョウ	A	鳥類 55	
サンゴホンエダヒゲムシ	A	多足類 10	*
サンショウクイ	X	鳥類 15	
シオガマ	A	貝類 72	
シオツガイ	C	貝類 179	*
シオヤガイ	X	貝類 17	
シゲヤスイトカケギリ	X	貝類 4	
シチクガイ	C	貝類 155	*
シドロ	B	貝類 112	*
シナハマヒメイエバエ	B	昆虫類 286	
シナヤカスエモノガイ	B	貝類 151	*
ジネスミ	D	哺乳類 9	
シノハラフサヤスデ	A	多足類 4	*
シノリガモ	D	鳥類 149	
シブオナガコマユバチ	A	昆虫類 241	
シベリアオオハシシギ	A	鳥類 35	
シマクイナ	A	鳥類 29	
シマゲンゴロウ	D	昆虫類 213	
シマドジョウ	C	魚類 15	
シマヘビ	C	爬虫類 9	
シマモツボ	A	貝類 33	*
ジムグリ	B	爬虫類 7	
シャープゲンゴロウモドキ	A	昆虫類 130	
ジャノメチョウ	C	昆虫類 340	
ジュスカケハゼ	B	魚類 9	
シュツツエニクバエ	C	昆虫類 291	
シュレーゲルアオガエル	D	両生類 11	
ジュンサイハムシ	C	昆虫類 199	
シヨウリョウバツタモドキ	D	昆虫類 80	
ジョナスキシタバ	D	昆虫類 367	
シラウオ	C	魚類 10	
シラオガイ	X	貝類 18	
シラギク	A	鳥類 40	*
シラコバト	C	鳥類 122	
シリアゲムシ	D	昆虫類 273	
シルビアシジミ	B	昆虫類 323	*
シロウオ	D	魚類 19	
シロスジケアシハナバチ	C	昆虫類 254	*
シロスジコガネ	C	昆虫類 185	
シロスジコンプトハナバチ	A	昆虫類 245	*
シロスジフデアシハナバチ	C	昆虫類 254	*
シロスジムカシハナバチヤドリ	C	昆虫類 267	*
シロスジヤドリハナバチ	C	昆虫類 267	*
シロスネアブ	D	昆虫類 295	*
シロチドリ	A	鳥類 32	*
シロバナカワトンボ	A	昆虫類 16	*
シロバリゴウナ	B	貝類 114	*
シロヘリハンミョウ	C	昆虫類 165	*
シロマダラ	B	爬虫類 5	
ズイムシハナカメムシ	C	昆虫類 98	*
スギハラベッコウ	C	昆虫類 259	
スゲロカモメ	A	鳥類 44	
スゲハムシ	B	昆虫類 160	
スコットカメムシ	C	昆虫類 109	
スジエビ	D	甲殻類 20	
スジケシガイ	A	貝類 61	
スジメナシムカデ	B	多足類 23	
スズガモ	D	鳥類 147	*
スズキクサカワゲラ	A	昆虫類 55	*
スッポン	X	爬虫類 1	
スナガイ	C	貝類 157	**
スナメリ	D	哺乳類 17	
スナヤツメ	B	魚類 5	
スミスシラゲガイ	A	貝類 49	*
スミナガシ	B	昆虫類 324	
スルガキセル	A	貝類 64	
セアカオサムシ	B	昆虫類 146	
セイタカシギ	A	鳥類 42	*
セイドウマルセイボウ	C	昆虫類 258	
セグロアジサン	C	鳥類 121	
セグロイナゴ	A	昆虫類 68	
セグロセキレイ	D	鳥類 160	
セグロトビケラ	C	昆虫類 303	
セグロバツタ	A	昆虫類 68	
セスジイトトンボ	D	昆虫類 46	
セスジナガカメムシ	D	昆虫類 112	
セツカ	D	鳥類 166	
ゼニタナゴ	X	魚類 2	*
ゼミスジコブヒゲカミキリ	D	昆虫類 236	
センダイムシクイ	C	鳥類 136	
センマイドオシ	A	貝類 45	*
ソトオリガイ	C	貝類 182	*
ソリハシシギ	C	鳥類 116	*
ダイコクコガネ	X	昆虫類 116	*
ダイサギ	C	鳥類 91	
ダイシャクシギ	A	鳥類 37	*
ダイゼン	C	鳥類 109	*
タイラギ	A	貝類 69	*
タカキビ	B	貝類 132	
タカクワヤスデ	B	多足類 18	*
タカシマジムカデ	B	多足類 27	
タガソデモドキ	A	貝類 95	
タカネトンボ	B	昆虫類 37	*
タカノハガイ	B	貝類 147	*
タカブシギ	B	鳥類 76	*
タガメ	A	昆虫類 83	*
タクミナ	A	貝類 52	*
タゲリ	C	鳥類 110	*
タゴガエル	B	両生類 5	

種名	カテゴリー	分類群番号	変更等
タジマガハラヒトフシムカデ	A	多足類 13	*
タナゴ	B	魚類 6	
タビドサナエ	C	昆虫類 43	
タマシギ	A	鳥類 30	
タマモヒラタヤスデ	B	多足類 20	*
ダンダラマテ	B	貝類 146	*
チクゼンハゼ	D	魚類 22	*
チコガニ	D	甲殻類 27	
チゴトリガイ	A	貝類 77	*
チゴモズ	X	鳥類 16	
チシマシギ	B	鳥類 72	
チチミウメ	B	貝類 144	*
チヂミガイ	A	貝類 100	*
チドリマスオ	A	貝類 83	*
チバハラアカハナバチ	B	昆虫類 252	
チバヤドリコハナバチ	B	昆虫類 252	
チビトゲアシメマトイ	B	昆虫類 288	
チャイロヒメハナカミキリ	D	昆虫類 232	
チュウサギ	B	鳥類 58	
チュウジシギ	A	鳥類 40	*
チュウシヤクシギ	D	鳥類 156	*
チュウゼンジギセル	B	貝類 131	
チュウヒ	A	鳥類 25	*
チョウゲンボウ	C	鳥類 100	
チョウシマジムカデ	X	多足類 2	
チョウトンボ	D	昆虫類 53	
ツチガエル	A	両生類 2	
ツドリ	C	鳥類 124	
ツノツツビケラ	C	昆虫類 306	*
ツノトンボ	C	昆虫類 163	
ツバメ	D	鳥類 158	
ツバメチドリ	A	鳥類 43	*
ツボミ	B	貝類 104	
ツマグロキチョウ	X	昆虫類 309	*
ツマグロキヨトウ	B	昆虫類 351	
ツマグロトビケラ	A	昆虫類 297	
ツマベニカイコガイダマシ	A	貝類 54	*
ツミ	B	鳥類 67	
ツヤハマベエンマムシ	C	昆虫類 179	
ツララガイ	A	貝類 56	*
ツルシギ	B	鳥類 75	*
テナガエビ	D	甲殻類 21	
テン	D	哺乳類 15	*
テングニシ	A	貝類 50	*
トウト	B	貝類 119	*
トウキョウウコオオベソマイマイ	C	貝類 163	
トウキョウサンショウウオ	B	両生類 7	*
トウキョウシリブトカイコガイダマシ	B	貝類 57	*
トウキョウダルマガエル	B	両生類 6	
トウキョウヒラマキガイ	D	貝類 192	*
トウネン	C	鳥類 112	*
トウヨウカクツツトビケラ	D	昆虫類 308	
トカシオリイレボラ	B	貝類 122	*
トキ	X	鳥類 3	
トクサガイ	B	貝類 124	*
トゲウネガイ	C	貝類 169	*
トゲカメムシ	C	昆虫類 105	
トゲナシヌマエビ	A	甲殻類 5	
トゲナナフシ	C	昆虫類 75	
トゲフタオタマムシ	A	昆虫類 134	*
トサヤドリキバチ	C	昆虫類 256	
トダセスジゲンゴロウ	C	昆虫類 174	
トネガワナガゴミムシ	D	昆虫類 206	
トビ	C	鳥類 96	
トビイロトビケラ	C	昆虫類 301	
トビハゼ	A	魚類 4	
トホシカメムシ	C	昆虫類 108	*
トモエガモ	B	鳥類 61	
トラツグミ	D	鳥類 162	
トラハナムグリ	D	昆虫類 224	*
トラフシジミ	D	昆虫類 344	
トラフズク	C	鳥類 126	
トラフトンボ	A	昆虫類 20	
トラフババヤスデ	A	多足類 8	*
トワダオヒヤスデ	A	多足類 7	*
ナガオカモノアラガイ	C	貝類 160	
ナカムラオニグモ	D	クモ類 8	
ナギサノシタタリ	C	貝類 166	
ナゴヤサナエ	A	昆虫類 19	
ナシカメムシ	C	昆虫類 101	
ナタネキバサナギガイ	A	貝類 63	**
ナチキシタドクガ	D	昆虫類 361	
ナツノツツレサセコオロギ	D	昆虫類 78	
ナベツル	C	鳥類 103	
ナミノコガイ	C	貝類 172	
ニセオオハラツツトビケラ	C	昆虫類 304	
ニセノコギリカミキリ	C	昆虫類 194	
ニセハマベエンマムシ	C	昆虫類 180	
ニッポンアワフキバチ	C	昆虫類 265	*
ニッポントゲアナバチ	C	昆虫類 262	*
ニッポントゲアワフキバチ	C	昆虫類 265	*
ニッポンヒイロワラジムシ	B	甲殻類 11	
ニホンアカガエル	A	両生類 3	
ニホンイシガメ	B	爬虫類 3	
ニホンカナヘビ	D	爬虫類 13	
ニホンカワウソ	X	哺乳類 2	
ニホンザル	D	哺乳類 12	**
ニホントカゲ	B	爬虫類 4	
ニホントゲイシムカデ	C	多足類 33	
ニホンハマワラジムシ	D	甲殻類 19	
ニホンマムシ	B	爬虫類 6	
ニホンマメシジミ	C	貝類 175	**

種名	カゴリ	分類群番号	変更等
ニホンメナシムカデ	B	多足類	24
ニホイヤモリ	D	爬虫類	14
ニホンリス	C	哺乳類	8
ヌカエビ	C	甲殻類	16
ヌマエビ	C	甲殻類	15
ヌマチチブ	D	魚類	21
ネアカヨシヤンマ	B	昆虫類	34
ネキトンボ	A	昆虫類	27
ネジロカミキリ	D	昆虫類	238
ネブトクワガタ	A	昆虫類	132
ノサシバエ	X	昆虫類	277
ノスリ	C	鳥類	99
バイ	B	貝類	117
ハイイロチビケフサヤスデ	A	多足類	6
ハイタカ	B	鳥類	68
ハギマシコ	C	鳥類	142
ハクガン	X	鳥類	8
ハクサンツバチ	C	昆虫類	263
ハグロフタオビドロバチ	B	昆虫類	249
ハサミシャコエビ	C	甲殻類	17
ハタケヤマアブ	D	昆虫類	296
ハチクマ	B	鳥類	65
ハツザクラ	A	貝類	92
ハツヤドリニクバエ	A	昆虫類	282
ハナグモリ	C	貝類	180
ハナゴウナ	B	貝類	113
ハネナシアメンボ	B	昆虫類	87
ハネビロエソトンボ	A	昆虫類	22
ハボウキガイ	B	貝類	141
ハマオモトヨトウ	D	昆虫類	363
ハマカゼ	A	貝類	102
ハマガン	X	甲殻類	1
ハマグリ	X	貝類	22
ハマシイノミガイ	C	貝類	165
ハマシギ	B	鳥類	73
ハマスズ	A	昆虫類	59
ハマベゴミムシ	A	昆虫類	125
ハマベソウムシ	A	昆虫類	142
ハヤブサ	B	鳥類	69
ハラグクレチゴガニ	A	甲殻類	8
ハラビロトンボ	B	昆虫類	38
ハラフマテ	A	貝類	86
ハリモモチウシヤクシギ	A	鳥類	39
ハルゼミ	A	昆虫類	82
バン	B	鳥類	70
ハンノキカミキリ	A	昆虫類	137
ヒオドシチヨウ	B	昆虫類	327
ヒガタスナホリムシ	A	甲殻類	2
ヒクイナ	A	鳥類	28
ヒグラシヤチニクバエ	B	昆虫類	290
ヒゲジロキバチ	C	昆虫類	255
ヒゲナガハナノミ	D	昆虫類	226
ヒゲフトハナムグリ	C	昆虫類	184
ヒゲヤスデ	B	多足類	19
ヒサゴクサキリ	B	昆虫類	70
ヒシクイ	X	鳥類	7
ヒトツメキヨトウ	B	昆虫類	350
ヒトリガカゲロウ	A	昆虫類	1
ヒナガイ	C	貝類	177
ヒナカマキリ	D	昆虫類	76
ヒナコウモリ	B	哺乳類	18
ヒヌマイトトンボ	A	昆虫類	12
ヒバカリ	D	爬虫類	11
ヒバリ	D	鳥類	157
ヒミズ	D	哺乳類	10
ヒメアカネ	A	昆虫類	26
ヒメアマツバメ	C	鳥類	128
ヒメウ	C	鳥類	90
ヒメカサキビ	B	貝類	133
ヒメカマキリ	C	昆虫類	72
ヒメカマキリモドキ	B	昆虫類	143
ヒメギセル	A	貝類	66
ヒメキマダラセセリ	D	昆虫類	343
ヒメクイナ	X	鳥類	10
ヒメゴウナ	B	貝類	127
ヒメコツブムシ	A	甲殻類	3
ヒメコメツブ	A	貝類	58
ヒメツチハンミョウ	C	昆虫類	192
ヒメヌマエビ	A	甲殻類	6
ヒメネスミ	D	哺乳類	14
ヒメハルゼミ	A	昆虫類	94
ヒメボタル	C	昆虫類	135
ヒメマイマイカブリ	C	昆虫類	167
ヒメマスオ	B	貝類	150
ヒメマダラナガカメムシ	D	昆虫類	113
ヒメミスカマキリ	B	昆虫類	90
ヒメミスズマシ	C	昆虫類	176
ヒメヨロイヤスデ	C	多足類	28
ヒモイカリナマコツマミガイ	A	貝類	46
ヒョウタンゴミムシ	D	昆虫類	205
ヒョウモンモドキ	X	昆虫類	313
ヒラザクラ	A	貝類	88
ヒラタクワガタ	B	昆虫類	148
ヒラテテナガエビ	D	甲殻類	23
ヒラマキミズマイマイ	D	貝類	191
ピリンゴ	D	魚類	18
ピロードキンクロ	C	鳥類	95
ピロクチカノコガイ	X	貝類	1
フィリタマヤスデ	B	多足類	17
フクイジガバチモドキ	B	昆虫類	251
フクロウ	B	鳥類	83
フジセイボウモドキ	B	昆虫類	248

情報不足

種名	カゴリ	分類群番号	変更等
フジナミガイ	X	貝類	16
フスマガイ	A	貝類	98
フタテンカメムシ	C	昆虫類	107
フタバシツチカメムシ	C	昆虫類	103
フタモンウバタマコメツキ	D	昆虫類	228
フトネクイハムシ	C	昆虫類	198
フトヘナタリ	A	貝類	28
フドロ	B	貝類	111
フルカワフトハキリバチ	A	昆虫類	244
ヘイケボタル	C	昆虫類	190
ヘーツヒラタカミキリ	B	昆虫類	156
ヘソアキゴウナ	A	貝類	47
ヘソカドタマキビ	D	貝類	184
ベッコウトンボ	X	昆虫類	6
ベッコウヒラタシデムシ	D	昆虫類	217
ヘナタリ	A	貝類	29
ベニアジサシ	C	鳥類	120
ベニイトトンボ	A	昆虫類	11
ベニイモ	B	貝類	123
ベニガイ	C	貝類	168
ベニバナナカミキリ	C	昆虫類	196
ベニモンツノカメムシ	C	昆虫類	110
ベニモンマキバサシガメ	C	昆虫類	97
ヘラシギ	A	鳥類	34
ベンケイガニ	B	甲殻類	13
ホウシュノタマ	C	貝類	153
ポウソウサワヒシバツタ	B	昆虫類	71
ポウソウヤマキマダラヒカゲ	C	昆虫類	341
ホウロクシギ	A	鳥類	38
ホオアカ	C	鳥類	141
ホオジロ	C	鳥類	140
ホオジロガモ	B	鳥類	63
ホシシリアゲ	C	昆虫類	270
ホシベニカミキリ	D	昆虫類	235
ホソカミキリ	C	昆虫類	195
ホソツチムカデ	X	多足類	3
ホソバオビキリガ	C	昆虫類	353
ホソバセセリ	B	昆虫類	319
ホソハンミョウ	A	昆虫類	118
ホソミイトトンボ	A	昆虫類	9
ホトケドジョウ	C	魚類	16
ホトトギス	C	鳥類	125
ホホヒゲヒメイエバエ	B	昆虫類	287
ホリヒメイエバエ	B	昆虫類	285
ホンサナエ	B	昆虫類	30
マエアカヒトリ	X	昆虫類	346
マギリキドクガ	D	昆虫類	360
マガン	X	鳥類	5
マクスジコミミガイ	A	貝類	59
マキノノガイ	A	貝類	53
マクラガイ	B	貝類	120
マゴコロガイ	X	貝類	10
マシジミ	C	貝類	174
マダラウミスズメ	B	鳥類	78
マツカサガイ	B	貝類	142
マツシマコメツブガイ	B	貝類	130
マツシマツボ	A	貝類	34
マツムシ	C	昆虫類	73
マナヅル	C	鳥類	105
マメコブシガニ	D	甲殻類	24
マメタニシ	A	貝類	37
マルタニシ	D	貝類	183
マルタンヤンマ	C	昆虫類	44
マルテンスマツムシ	A	貝類	48
マルバネトビケラ	D	昆虫類	307
マルヘノジガイ	A	貝類	74
マンゲツシオガマ	A	貝類	73
ミガキクチキレ	B	貝類	126
ミクリガイ	B	貝類	118
ミサキツノトビケラ	A	昆虫類	298
ミサゴ	B	鳥類	64
ミジンシラオ	A	貝類	97
ミジンマイマイ	C	貝類	156
ミスイロオナガシジミ	C	昆虫類	330
ミスコハクガイ	A	貝類	62
ミスゴマツボ	A	貝類	43
ミスジキリガ	C	昆虫類	356
ミスジシリアゲ	C	昆虫類	271
ミスジチヨウ	C	昆虫類	339
ミスズマシ	C	昆虫類	177
ミソガイ	D	貝類	196
ミソゴイ	A	鳥類	20
ミソサザイ	C	鳥類	131
ミソレヌマエビ	A	甲殻類	4
ミドリイエバエ	X	昆虫類	275
ミドリカワゲラモドキ	A	昆虫類	55
ミドリシジミ	C	昆虫類	335
ミドリバエ	D	昆虫類	293
ミドリヒョウモン	C	昆虫類	338
ミナミサシバエ	X	昆虫類	278
ミナミテナガエビ	D	甲殻類	22
ミヤコタナゴ	A	魚類	3
ミヤコドリ	A	鳥類	31
ミヤコドリ	A	貝類	25
ミヤマアカネ	X	昆虫類	7
ミヤマクワガタ	D	昆虫類	220
ミヤマサナエ	A	昆虫類	17
ミヤマセセリ	B	昆虫類	318
ミヤマチャバネセセリ	B	昆虫類	320
ミユビシギ	D	鳥類	152
ミルクイ	A	貝類	81
ムシヤドリカワザンショウ	D	貝類	186

種名	カテゴリー	分類群番号	変更等
ムシロガイ	C	貝類 154	
ムスジイトトンボ	B	昆虫類 28	
ムツボシベッコウ	A	昆虫類 242	
ムナグロ	D	鳥類 151	*
ムネアカセンチコガネ	D	昆虫類 221	
ムネアカチビヒョウタンゴミムシ	D	昆虫類 204	
ムネモンアカネトラカミキリ	D	昆虫類 234	
ムラクモキジビキガイ	B	貝類 128	
ムラサキガイ	X	貝類 15	
メジロ	C	鳥類 139	
メダイチドリ	C	鳥類 108	*
メダカ	B	魚類 8	
メツゲルニクバエ	A	昆虫類 283	
モートンイトトンボ	A	昆虫類 13	*
モクスガニ	D	甲殻類 28	*
モクハチアオイ	X	貝類 9	*
モスソガイ	D	貝類 189	*
モツゴ	D	魚類 17	
モノアラガイ	D	貝類 190	
モノサシトンボ	C	昆虫類 41	
モモジロコウモリ	B	哺乳類 4	
モリアオガエル	C	両生類 8	
モンクキバチ	C	昆虫類 257	
ヤイロチョウ	X	鳥類 14	*
ヤクシマキリガ	B	昆虫類 352	*
ヤクシマドクガ	D	昆虫類 362	
ヤスマツアメンボ	B	昆虫類 88	*
ヤスマツツチバチ	A	昆虫類 243	*
ヤスマツヒメハナバチ	B	昆虫類 253	
ヤタテガイ	B	貝類 121	
ヤチヨノハナガイ	A	貝類 82	*
ヤブサメ	C	鳥類 135	
ヤブヤンマ	D	昆虫類 52	
ヤマアカガエル	C	両生類 9	
ヤマカガシ	D	爬虫類 12	
ヤマガラ	C	鳥類 138	
ヤマキマダラヒカゲ房総亜種	C	昆虫類 341	*
ヤマコウモリ	X	哺乳類 1	
ヤマサナエ	D	昆虫類 48	
ヤマセミ	B	鳥類 84	
ヤマトオサガニ	D	甲殻類 25	
ヤマトガガンボモドキ	C	昆虫類 272	
ヤマトケシマグソコガネ	C	昆虫類 183	
ヤマトシジミ	C	貝類 173	
ヤマトシリアゲ	D	昆虫類 273	
ヤマトタマムシ	D	昆虫類 227	*
ヤマトタマヤスデ	B	多足類 16	
ヤマトチビスズ	A	昆虫類 62	
ヤマトスマエビ	C	甲殻類 14	
ヤマトハッタ	A	昆虫類 66	
ヤマトマダラハッタ	A	昆虫類 66	
ヤマトモンシデムシ	C	昆虫類 181	*
ヤマドリ	C	鳥類 101	
ヤマトルリモンハナバチ	A	昆虫類 246	*
ヤマホトトギス	B	貝類 139	*
ヤリタナゴ	C	魚類 11	
ユウシオガイ	A	貝類 91	
ユキガイ	X	貝類 11	
ユキノアシタ	A	貝類 87	*
ユビナガコウモリ	D	哺乳類 11	*
ヨウロウアシフトハバチ	B	昆虫類 247	
ヨウロウヒラクチハバチ	B	昆虫類 247	
ヨコツナツチカメムシ	C	昆虫類 102	
ヨコハマシジラガイ	C	貝類 167	
ヨシイッスンムカデ	C	多足類 32	*
ヨシガモ	B	鳥類 62	
ヨシゴイ	A	鳥類 19	
ヨシダカワザンショウ	B	貝類 110	
ヨシヤジムカデ	B	多足類 25	*
ヨスジキンメアブ	D	昆虫類 294	*
ヨスジメクラアブ	D	昆虫類 294	*
ヨセギザクラ	A	貝類 94	*
ヨタカ	A	鳥類 50	
ヨツボシカミキリ	B	昆虫類 157	
ヨツボシトンボ	A	昆虫類 24	
リスアカネ	B	昆虫類 39	*
リュウキュウチビスズ	A	昆虫類 62	
ルーミスシジミ	C	昆虫類 336	*
ルリツヤハダコメツキ	C	昆虫類 188	
レンズガイ	B	貝類 136	
ワカウラツボ	A	貝類 35	*
ワスレガイ	D	貝類 197	*
ワスレナグモ	A	クモ類 2	

千葉県の保護上重要な野生生物  
千葉県レッドリスト(動物編)  
<2006年改訂版>

写真提供 倉西良一

---

2006年3月 発行

発行：千葉県環境生活部自然保護課  
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号  
電話(043)223-2059  
編集：財団法人 千葉県環境財団  
〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目11番1号  
電話(043)246-2078

---

千葉県環境生活部自然保護課(2006)：千葉県の保護上重要な野生生物千葉県レッドリスト(動物編)<2006年改訂版>



生活は環境  
600万人の  
ちば

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています  
環境に配慮し、植物性インクを使用しています。